

第7次別海町総合計画見直しに係る
まちづくりアンケート調査
結果報告書

令和6年4月



総務部総合政策課

目次

調査概要	1
アンケート調査について	2
1 調査の目的	2
2 調査方法	2
3 回答状況	2
調査結果	3
回答者の属性	4
1 性別	4
2 年齢	4
3 職業	4
4 居住歴	5
5 居住地	5
愛着度について	6
1 全体集計	6
2 性別、年齢、職業別集計	7
3 居住歴、居住地別集計	8
まちの暮らしやすさについて	9
1 全体集計	9
2 性別、年齢、職業別集計	10
3 居住歴、居住地別集計	11
今後の定住意向について	12
1 全体集計	12
2 性別、年齢、職業別集計	13
3 居住歴、居住地別集計	14
住みたくないと思う主な理由について	15
町の広報紙について	16
町のホームページの閲覧について	17
広報・広聴活動について	18
自然環境の豊かさについて	19
避難場所について	20
家庭での防災対策について	21
防災訓練等への参加について	22
住民参画について	23
地域活動やボランティア活動への参加経験	24
地域活動やボランティア活動への参加意向	25
パートナーシップ宣誓制度の必要性	26
町の土地利用に係る施策について	27
1 全体集計	27

2 性別、年齢、職業別集計	28
3 居住歴、居住地別集計	29
町の施策に対する「満足度」と「重要度」について	30
1 これまでの満足度について	30
2 今後の重要度について	30
3 これまでの満足度について（全体%）	31
4 今後の重要度について（全体%）	32
5 満足度指数による分析	33
6 重要度指数による分析	34
7 満足度指数と重要度指数による各施策の散布図	35
今後、特に力を入れてほしいと思うこと	36
自由意見について	37

調査概要

アンケート調査について

1 調査の目的

第7次総合計画（令和元年度～令和10年度）の見直しに当たり、現在のまちづくりの課題や、目指すべきまちの将来の姿などについて、アンケート調査を通じて町民からの意見を集約し、計画の見直しに役立てることを目的として実施しました。

2 調査方法

(1) 調査対象

町内に居住する18歳以上の方から無作為に抽出した2,000名

(2) 調査期間

令和6年1月26日に配布し、2月16日を期限として回収（回答）

(3) 回答方法

返信用封筒での郵送返信又はインターネットを活用したオンライン回答

3 回答状況

配布数	回答数	回答率
2,000名	650名※	32.5%

※郵送回答471名、オンライン回答179名（オンライン回答率27.5%）

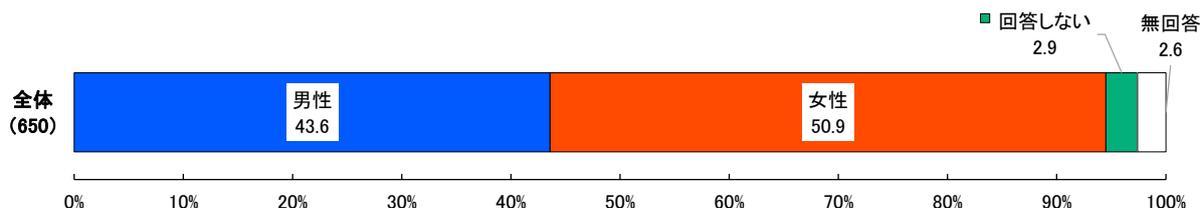
調査結果

回答者の属性

問 本調査にご回答頂くあなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

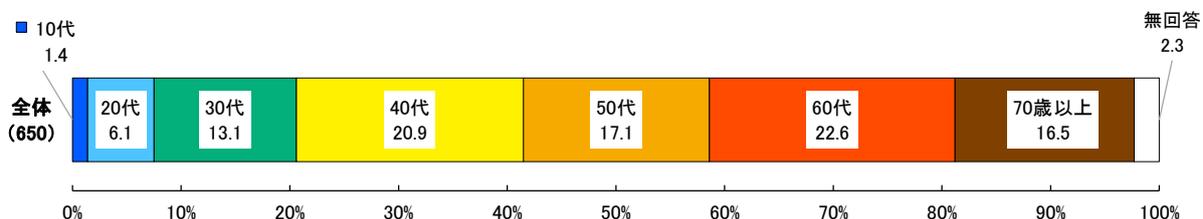
1 性別

回答者の性別構成は、「男性」が43.6%、「女性」が50.9%となっています。



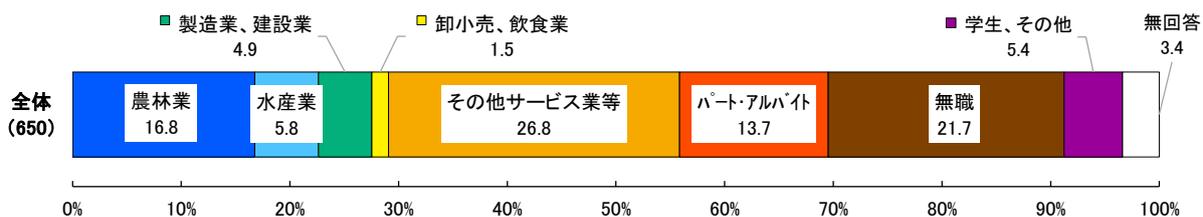
2 年齢

回答者の年齢構成は、「60代」が22.6%と最も高く、次いで「40代」が20.9%、「50代」が17.1%、「70歳以上」が16.5%、「30代」が13.1%、20代が「6.1%」、「10代」1.4%となっています。



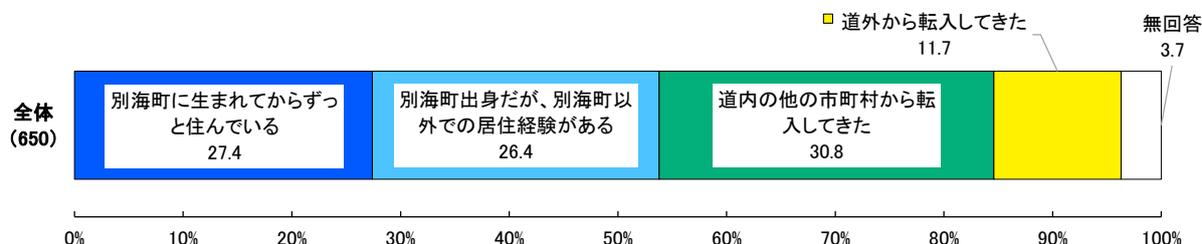
3 職業

回答者の職業構成は、「その他サービス業等」が26.8%と最も高く、次いで「無職」が21.7%、「農林業」が16.8%、「パートタイム・アルバイト」が13.7%、「水産業」が5.8%、「学生、その他」が5.4%、「製造業・建設業」が4.9%、「卸小売、飲食業」が1.5%となっています。



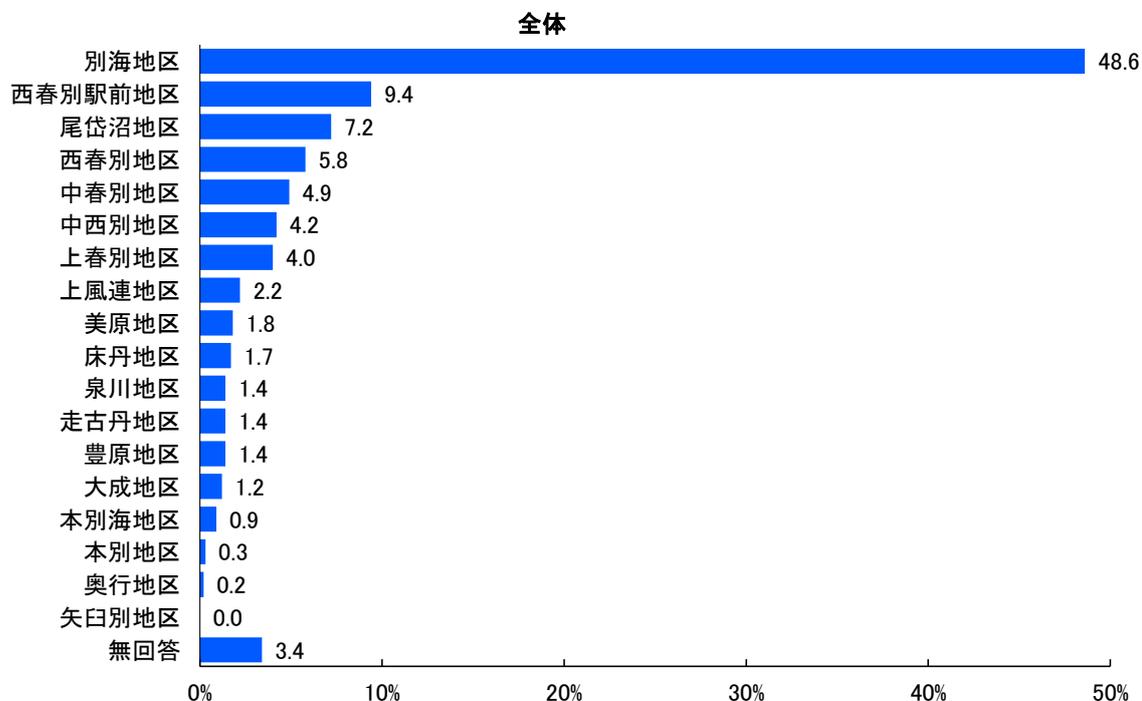
4 居住歴

回答者の居住歴は、「道内の他の市町村から転入してきた」が30.8%と最も高く、次いで「別海町に生まれてからずっと住んでいる」が27.4%、「別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある」が26.4%、「道外から転入してきた」が11.7%となっています。



5 居住地

回答者の居住地区は、「別海地区」が48.6%と最も高く、次いで「西春別駅前地区」が9.4%、「尾岱沼地区」が7.2%、「西春別地区」が5.8%、「中春別地区」が4.9%、「中西別地区」が4.2%、「上春別地区」が4.0%、「上風連地区」が2.2%、「美原地区」が1.8%、「床丹地区」が1.7%、「泉川地区」、「走古丹地区」及び「豊原地区」が1.4%、「大成地区」が1.2%、「本別海地区」が0.9%、「本別地区」が0.3%、「奥行地区」が0.2%となっています。



愛着度について

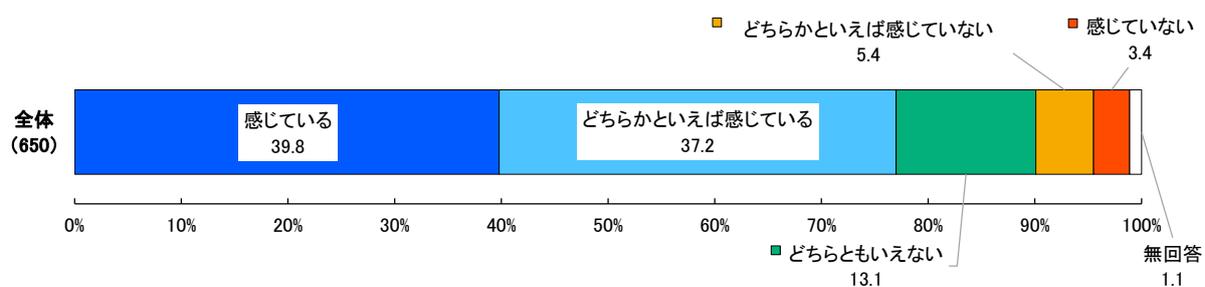
問1 あなたは、別海町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

～『愛着を感じている』が約8割、『愛着を感じていない』が1割以下～

まちへの愛着度についてみると、「感じている」（39.8%）と「どちらかといえば感じている」（37.2%）を合計した『愛着を感じている』は77.0%となっています。

一方、「感じていない」（3.4%）と「どちらかといえば感じていない」（5.4%）を合計した『愛着を感じていない』は8.8%となっています。

1 全体集計



○前回アンケートとの比較

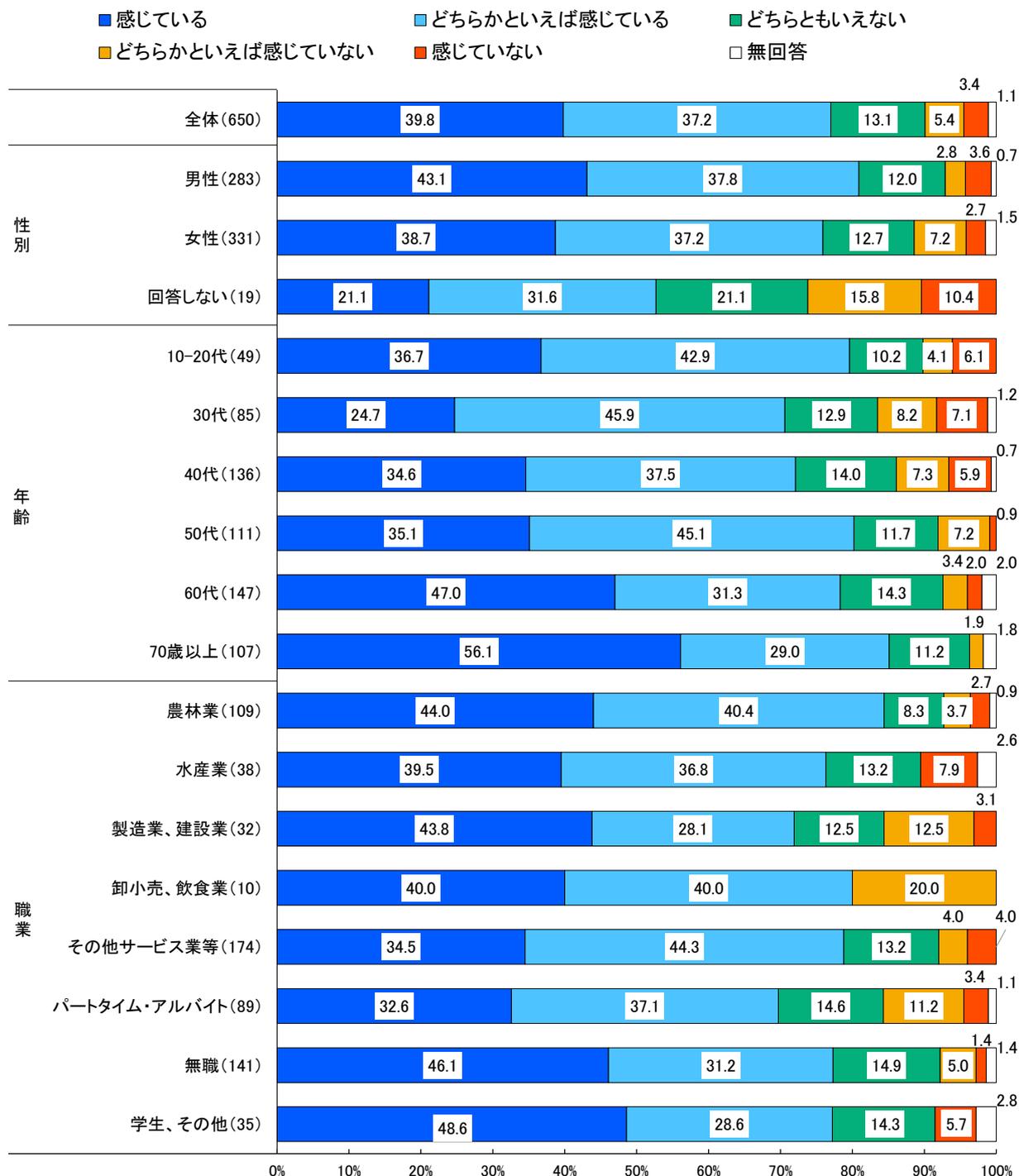
	前回 (H29)	今回 (R5)	増減
愛着を感じている	70.5%	77.0%	+6.5
愛着を感じていない	8.8%	8.8%	±0

2 性別、年齢、職業別集計

まちへの愛着度について性別でみると、『愛着を感じている』は男性が80.9%、女性は75.9%となっており、男性が女性を5.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、『愛着を感じている』は、30代で70.6%と低くなっていますが、全体として7割前後から約8割となっており、特に「感じている」は年齢とともに高くなる傾向にあり、70歳以上では56.1%と半数を超えています。

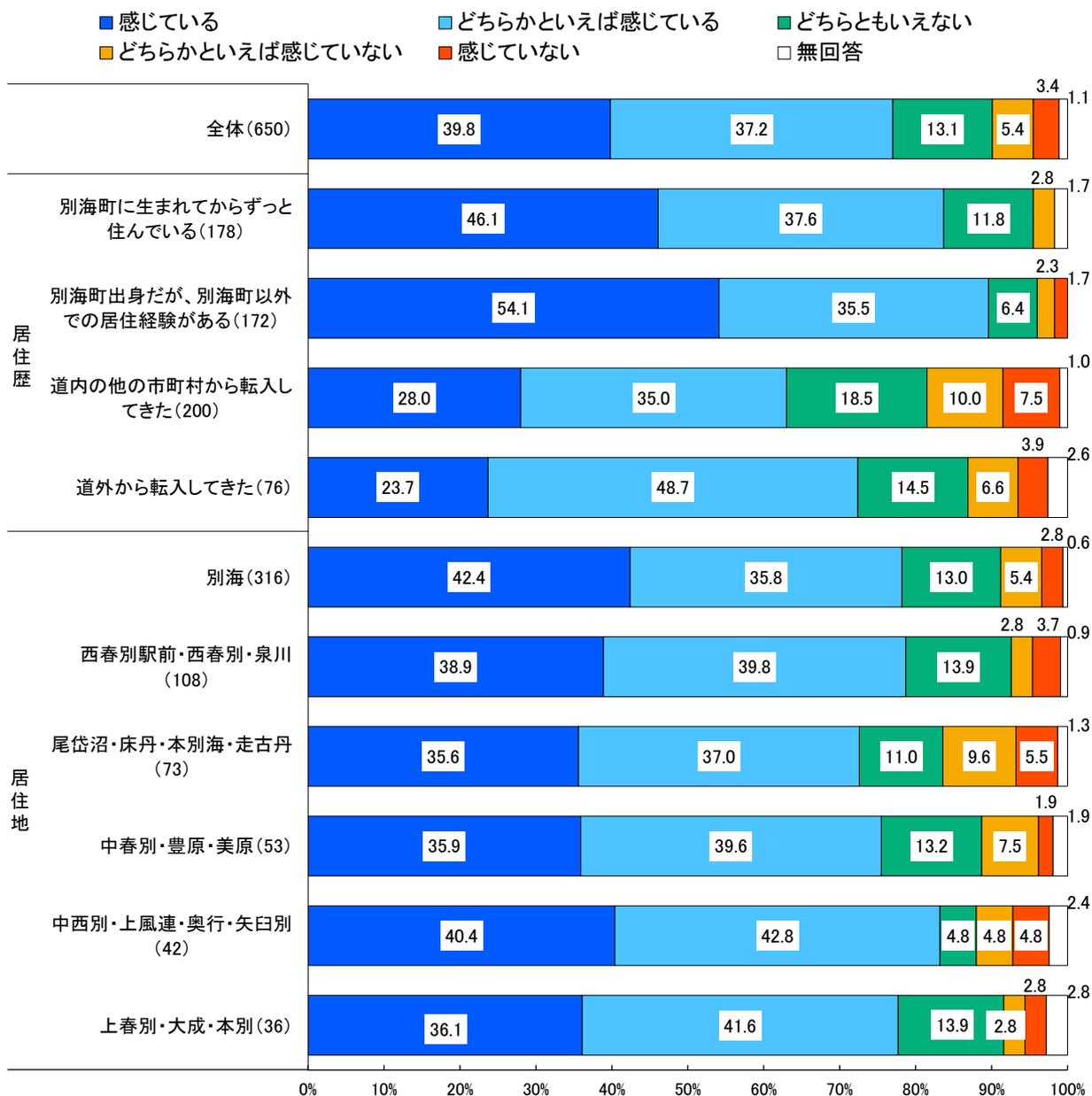
職業別にみると、『愛着を感じている』は農林業が84.4%と最も高く、次いで卸小売、飲食業が80.0%となっているなど、7割を超える職業が多くなっています。一方で、パートタイム・アルバイトは69.7%と低くなっています。



3 居住歴、居住地別集計

居住歴別にみると、『愛着を感じている』は「別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある」が89.6%で最も高く、ほかにも7割前後となっていますが、「道内の他の市町村から転入してきた」は63.0%と低くなっています。

居住地別にみると、『愛着を感じている』は「中西別・上風連・奥行・矢臼別」が83.2%で最も高く、他の居住地においても7割を超えています。また、「尾岱沼・床丹・本別海・走古丹」は72.6%と低くなっています。



まちの暮らしやすさについて

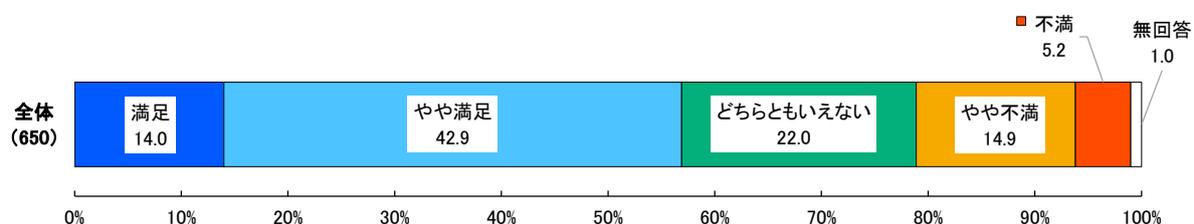
問2 あなたは、全体的にみた別海町の暮らしやすさについて満足していますか。

～『満足している』が5割以上、一方、『不満である』は2割～

まちの暮らしやすさについてみると、「満足」(14.0%)と「やや満足」(42.9%)を合計した『満足している』は56.9%となっています。

一方、「不満」(5.2%)と「やや不満」(14.9%)を合計した『不満である』は20.1%となっています。

1 全体集計



○前回アンケートとの比較

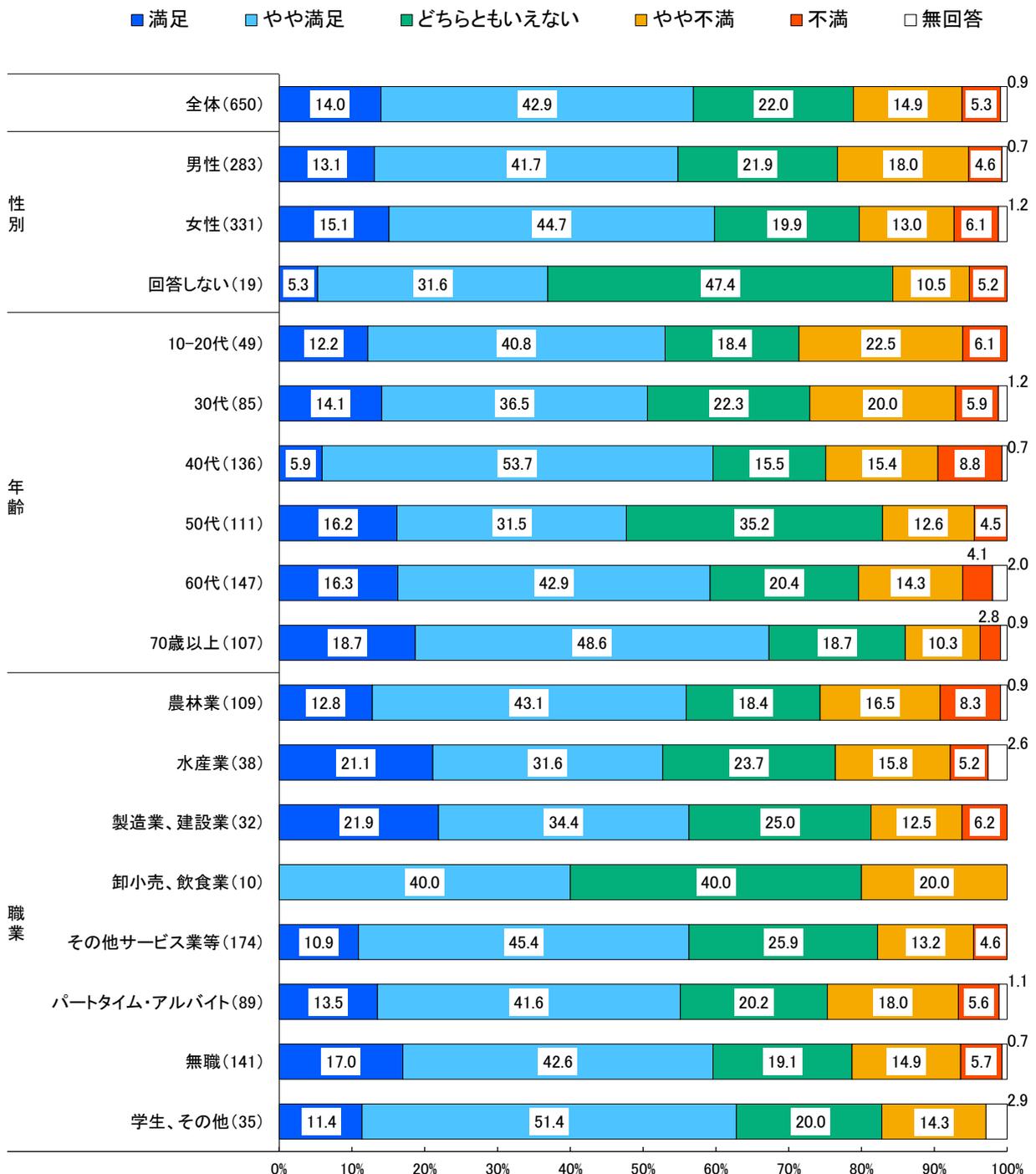
	前回 (H29)	今回 (R5)	増減
満足している	50.9%	56.9%	+6.0
不満である	20.6%	20.1%	△0.5

2 性別、年齢、職業別集計

まちの暮らしやすさについて性別で見ると、『満足している』は、男性が54.8%、女性は59.8%となっており、女性が男性を5ポイント上回っています。

年齢別にみると、『満足している』は年齢によって差があり、50代では47.7%なのに対し、70歳以上では67.3%となっています。

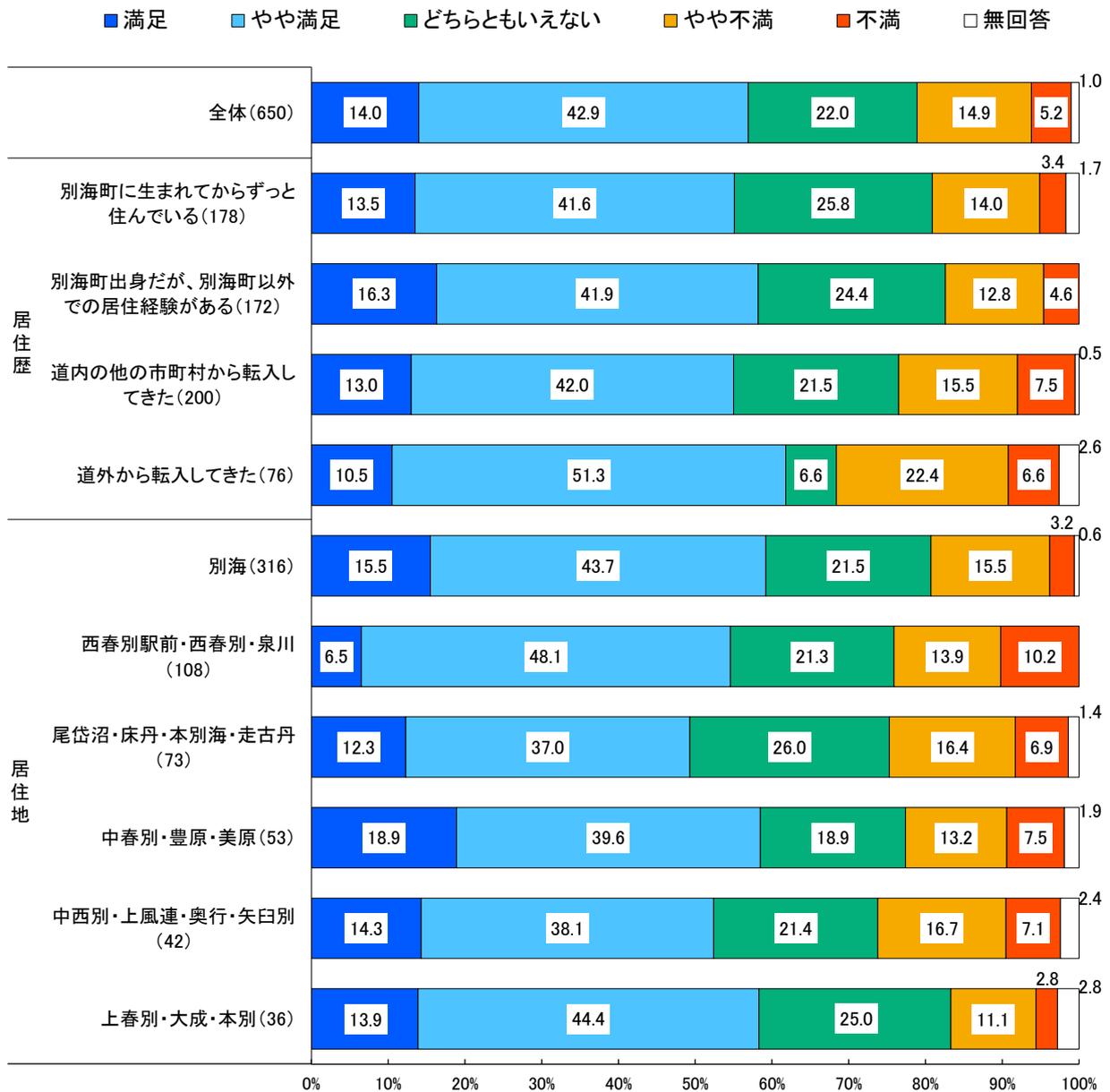
職業別にみると、『満足している』は学生、その他が62.8%と最も高く、次いで無職が59.6%となっています。一方、卸売業・飲食業は40.0%と低くなっています。



3 居住歴、居住地別集計

居住歴別にみると、『満足している』は、「道外から転出してきた」が61.8%と最も高く、ほかはいずれも半数を上回っています。

居住地別にみると、『満足している』は、「別海」が59.2%と最も高い一方で、「尾岱沼・床丹・本別海・走古丹」が49.3%と半数を下回っています。



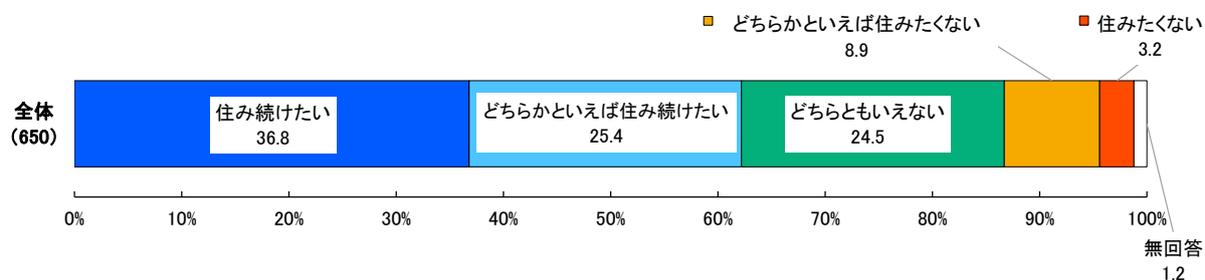
今後の定住意向について

問3 あなたは、今後も別海町に住み続けたいと思いますか。

～『住み続けたい』が6割以上、一方、『住みたくない』は1割台～

今後の定住意向についてみると、「住み続けたい」(36.8%)と「どちらかといえど住み続けたい」(25.4%)を合計した『住み続けたい』は62.2%となっています。一方、「住みたくない」(3.2%)と「どちらかといえど住みたくない」(8.9%)を合計した『住みたくない』は12.1%となっています。

1 全体集計



○前回アンケートとの比較

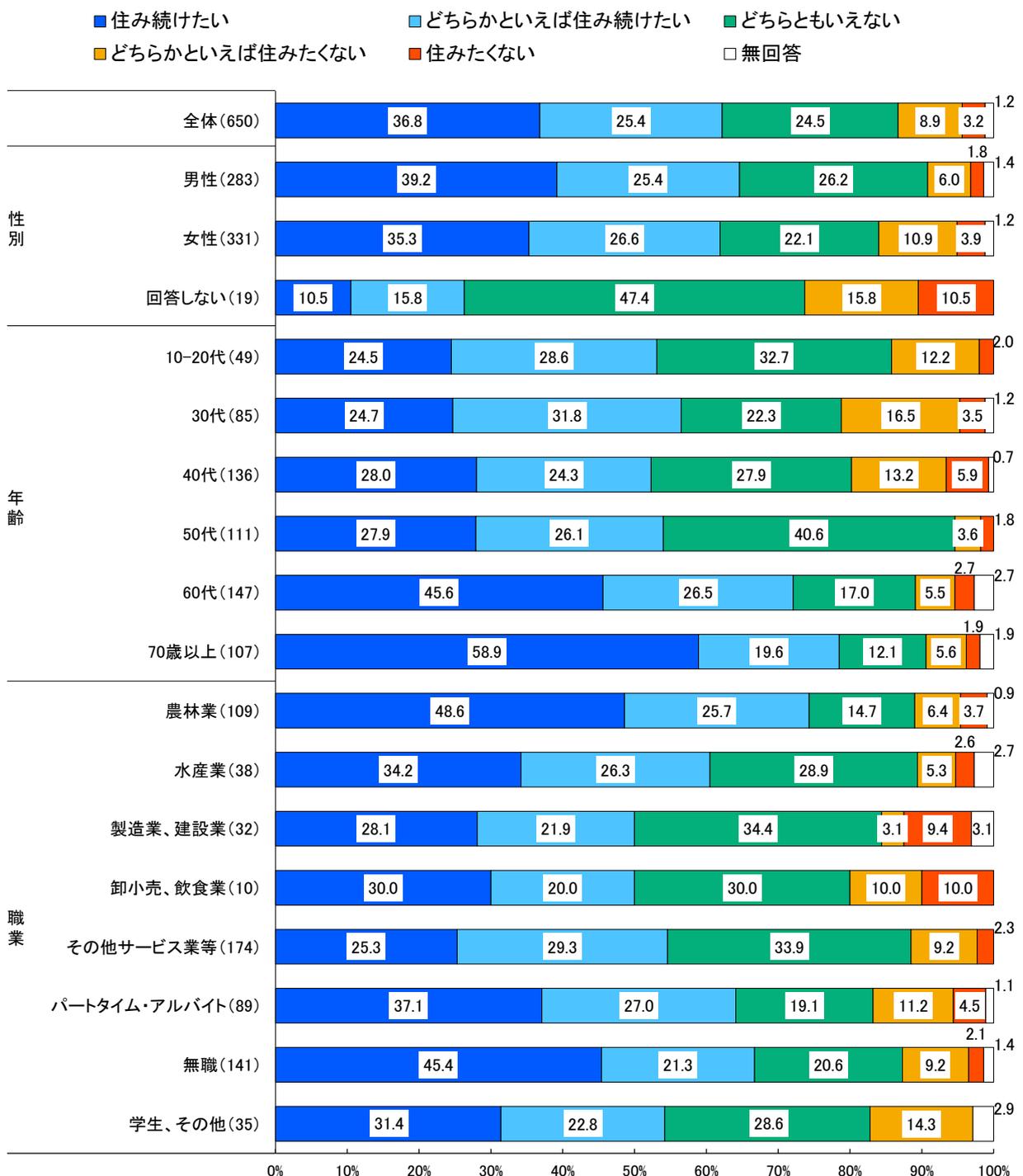
	前回 (H29)	今回 (R5)	増減
住み続けたい	66.0%	62.2%	△3.8
住みたくない	11.1%	12.1%	+1.0

2 性別、年齢、職業別集計

今後の定住意向について性別でみると、『住み続けたい』は、男性が64.6%、女性は61.9%となっており、男性が女性を2.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、『住み続けたい』は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、10-20代では53.1%なのに対し、70歳以上では78.5%となっています。また50代までは6割を下回っていますが、60代以上では7割を超えています。

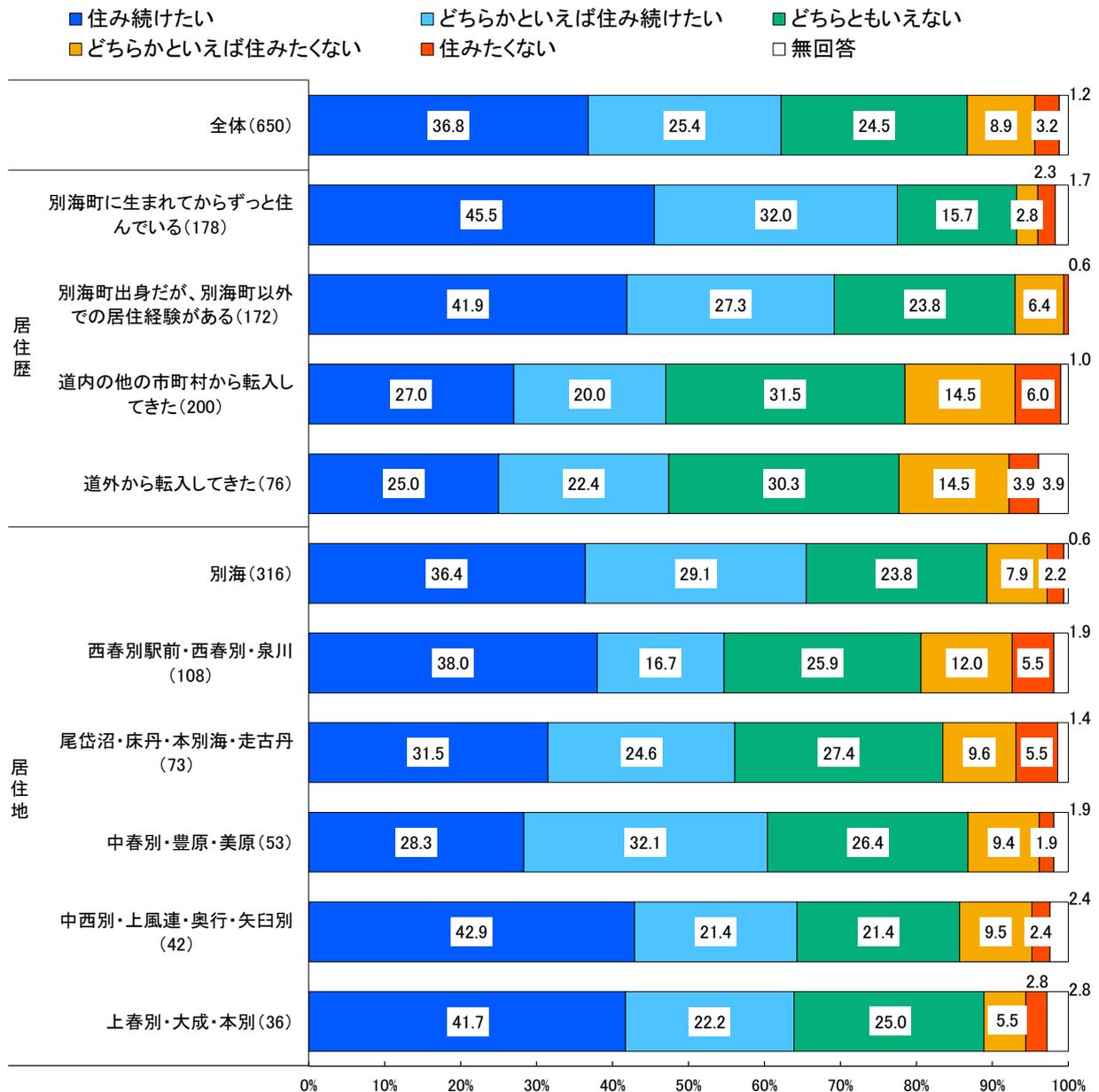
職業別にみると、『住み続けたい』は、農林業が74.3%と最も高く、次いで無職が66.7%となっています。一方で、卸小売、飲食業及び製造業・建設業は50.0%と、他の職業よりも低くなっています。



3 居住歴、居住地別集計

居住歴別にみると、『住みたい』は、別海町の出身である「別海町に生まれてからずっと住んでいる」と「別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある」は6割を超えています。道内の他の市町村から転入してきた」と「道外から転入してきた」は4割台と差がある状況となっています。

居住地別にみると、『住みたい』は、「別海」が65.5%と最も高く、他も5割台となっています。西春別駅前・西春別・泉川」は54.7%と他よりも低くなっています。

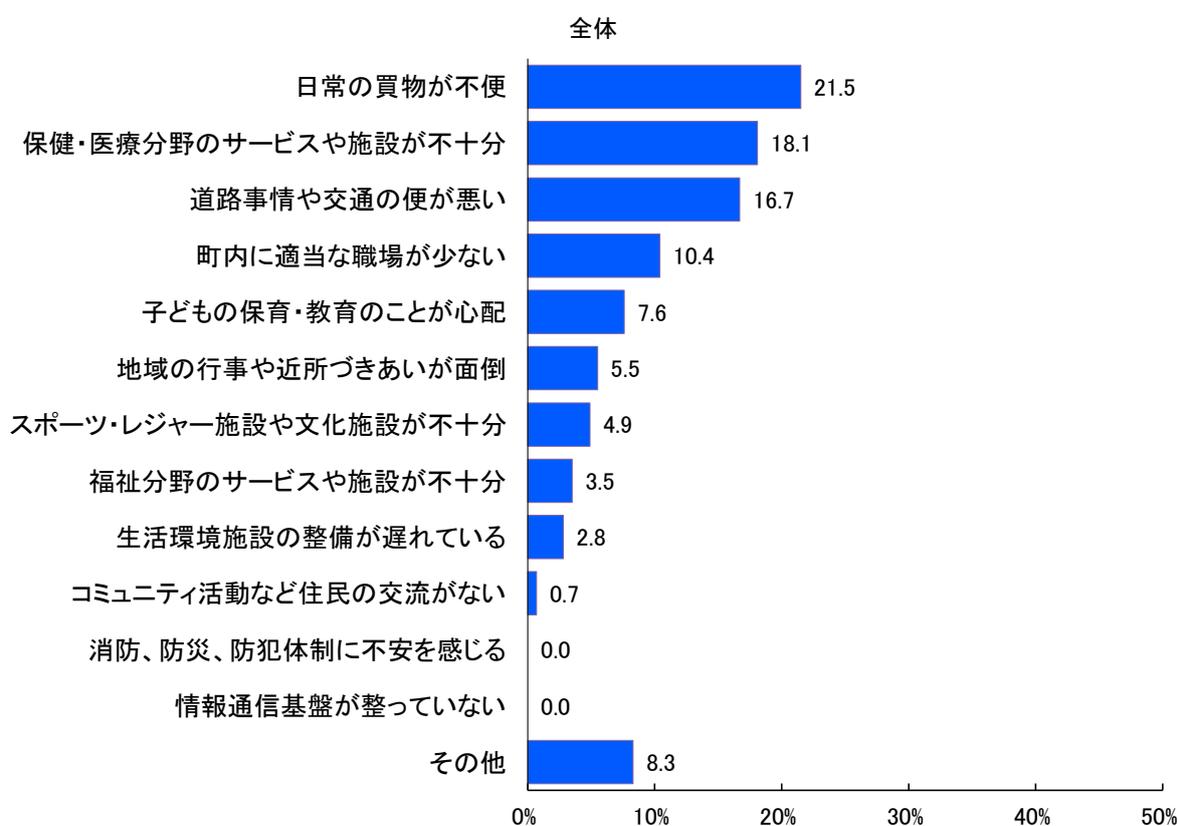


住みたくないと思う主な理由について

問3付問 住みたくないと思う主な理由は何ですか。(問3で「どちらかといえば住みたくない」または「住みたくない」と回答した人のみ)

～「日常の買物が不便」、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」～

問3で別海町に『住みたくない』と回答した人(全体の12.1%、79人)を対象にした、住みたくない主な理由についてみると、「日常の買い物が不便」が21.5%で最も高く、次いで「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」が18.1%、「道路事情や交通の便が悪い」が16.7%となっています。



町の広報紙について

問4 あなたは、町の広報紙を読んでいますか。

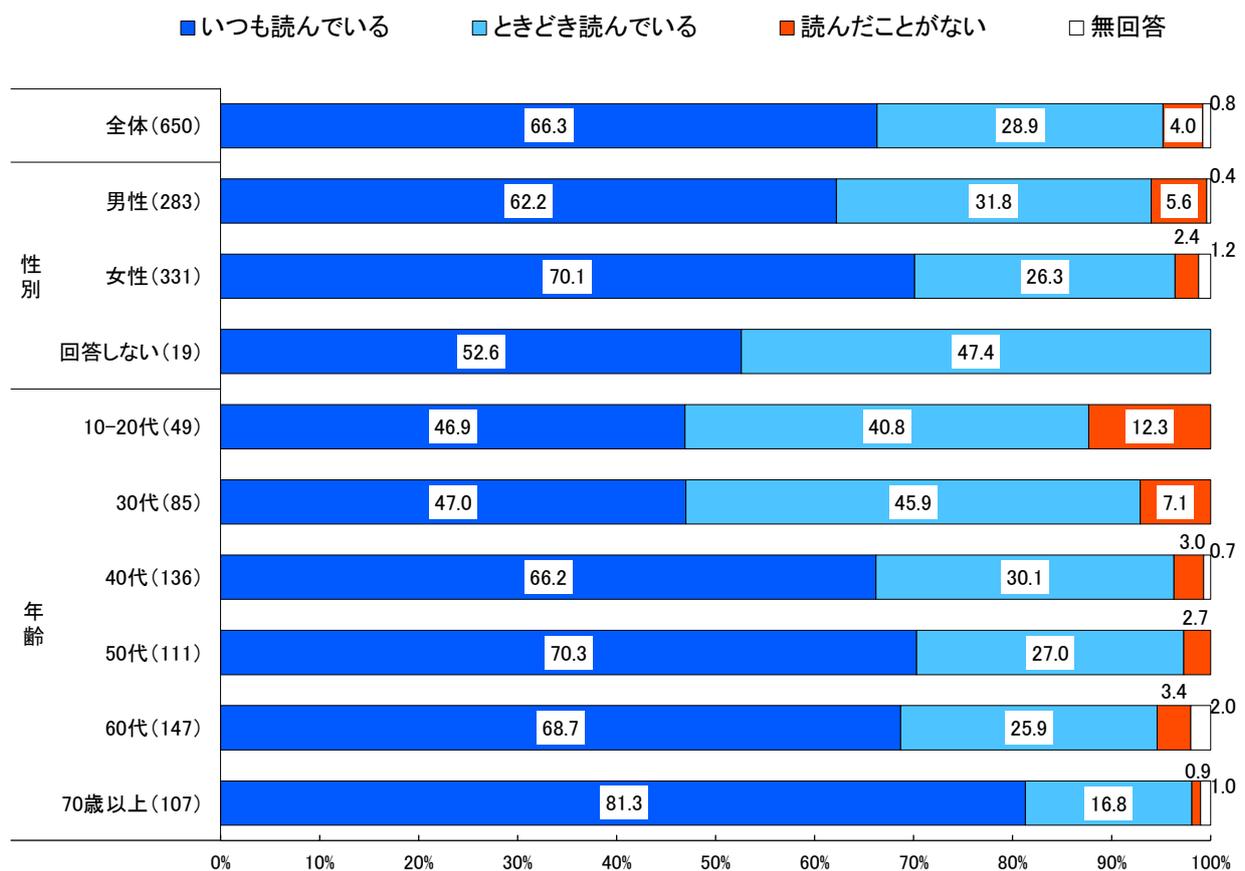
～「いつも読んでいる」が6割台、「読んだことがない」は1割以下～

町の広報について全体をみると、「いつも読んでいる」は66.3%で、「ときどき読んでいる」(28.9%)と合計した『読んでいる』は95.2%となっており、「読んだことがない」の4.0%を91.2ポイント上回っています

性別でみると、『読んでいる』は男性が94.0%、女性は96.4%と、差がありません。

年齢別でみると、『読んでいる』は70歳以上が98.1%と最も高く、最も低い10-20代でも87.7%と9割弱となっています。

ただし、「いつも読んでいる」をみると、40代以上では6割を超えているのに対して、10-20代、30代では4割台と、ほかよりも約2割の差ができています。



○前回アンケートとの比較

	前回 (H29)	今回 (R5)	増減
いつも読んでいる	70.9%	66.3%	△4.6
読んだことがない	2.5%	4.0%	+1.5

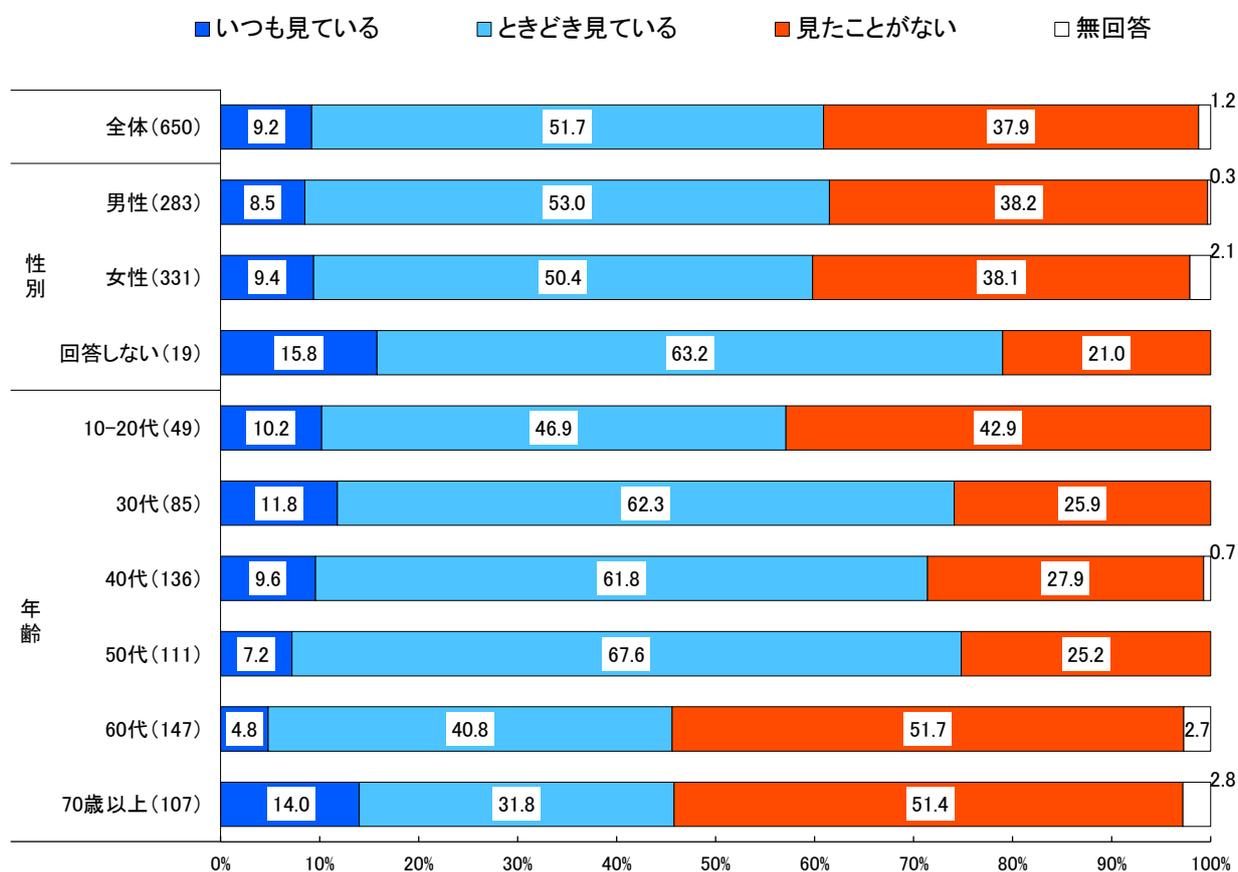
町のホームページの閲覧について

問5 あなたは、町のホームページを見ていますか。

～『見ている』が6割以上、「見たことがない」が3割台～

町のホームページの閲覧について全体をみると、「いつも見ている」(9.2%)と「ときどき見ている」(51.7%)を合計した『見ている』は60.9%となっており、「見たことがない」の37.9%を23.0ポイント上回っています。

年齢別でみると、『見ている』が50代が74.8%と最も高く、最も低い60代(45.6%)よりも29.2ポイント上回っています。また、30代から50代では『見ている』が7割を超えているのに対して、60代と70歳代では「見たことがない」が『見ている』を上回っています。



○前回アンケートとの比較

	前回 (H29)	今回 (R5)	増減
見たことがある	54.1%	60.9%	+6.8
見たことがない	42.3%	37.9%	△4.4

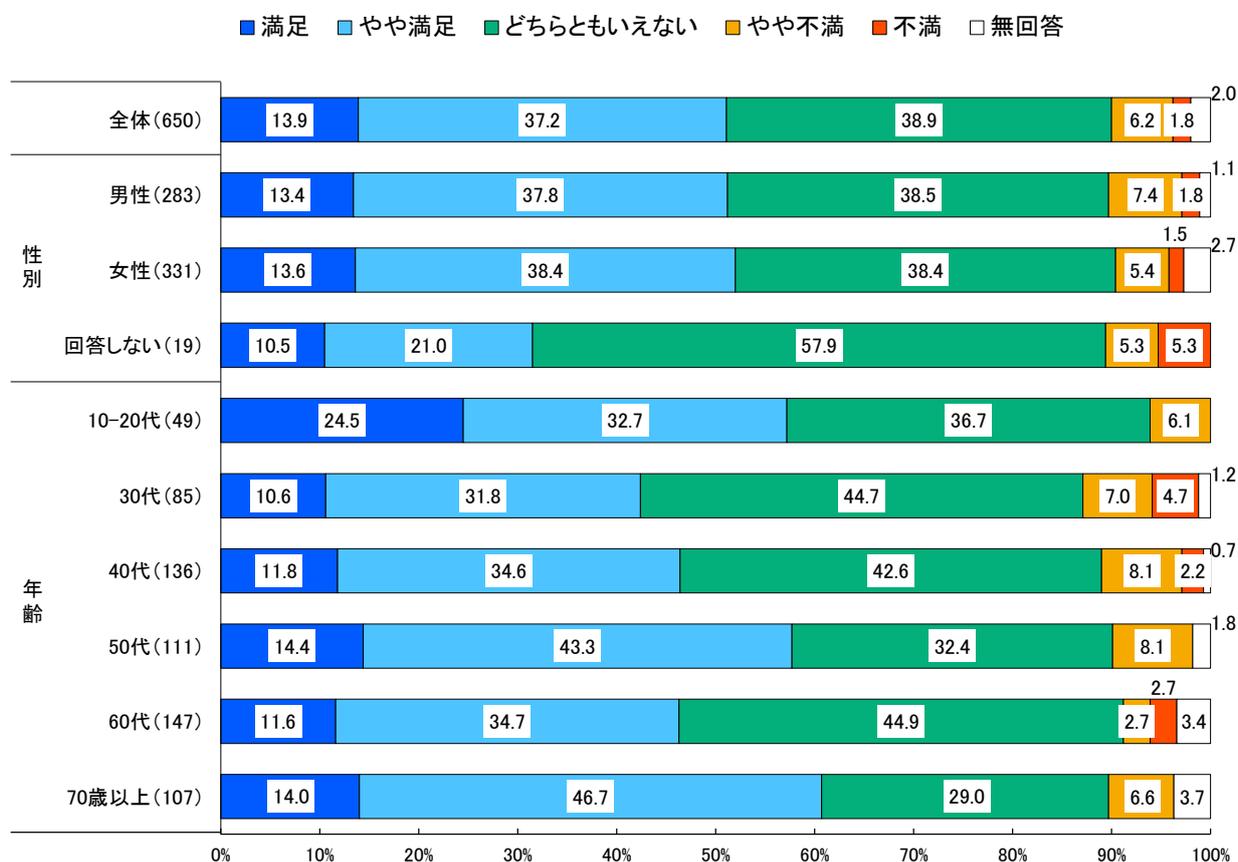
広報・広聴活動について

問6 あなたは、町の広報・広聴活動に関する取組み（広報紙やホームページなど）について満足していますか。

～『満足している』が5割以上、『不満である』は1割以下～

広報・広聴活動について全体をみると、「満足」(13.9%)と「やや満足」(37.2%)を合計した『満足している』は51.1%となっており、「不満」(1.8%)と「やや不満」(6.2%)を合計した『不満である』の8.0%を43.1ポイント上回っています

年齢別でみると、『満足している』は70歳以上が60.7%と最も高く、最も低い30代(42.4%)を18.3ポイント上回っていて、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。



○前回アンケートとの比較

	前回 (H29)	今回 (R5)	増減
満足している	55.9%	51.1%	△4.8
不満である	8.0%	8.0%	±0

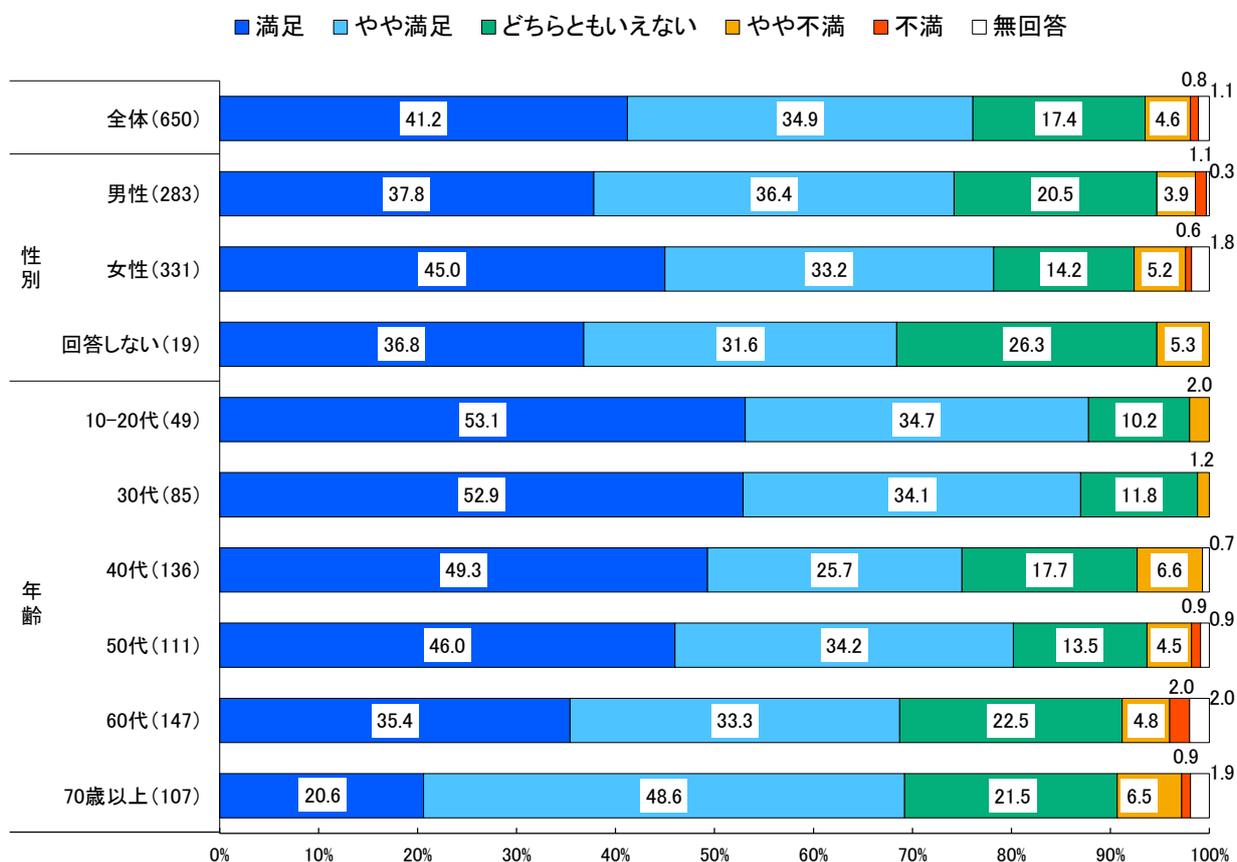
自然環境の豊かさについて

問7 あなたは、町の自然環境の豊かさについて満足していますか。

～『満足している』が7割以上、『不満である』は1割以下～

自然環境の豊かさについて全体をみると、「満足」(41.2%)と「やや満足」(34.9%)を合計した『満足している』は76.1%となっており、「不満」(0.8%)と「やや不満」(4.6%)を合計した『不満である』の5.4%を70.7ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は10-20代が87.8%と最も高く、最も低い60代(68.7%)を19.1ポイント上回っています。また、『満足している』は60代から70歳以上は6割程度であるのに対して、10-20代から50代では7割を超えており、差がみられます。



○前回アンケートとの比較

	前回 (H29)	今回 (R5)	増減
満足している	65.9%	76.1%	+10.2
不満である	7.6%	5.4%	△2.2

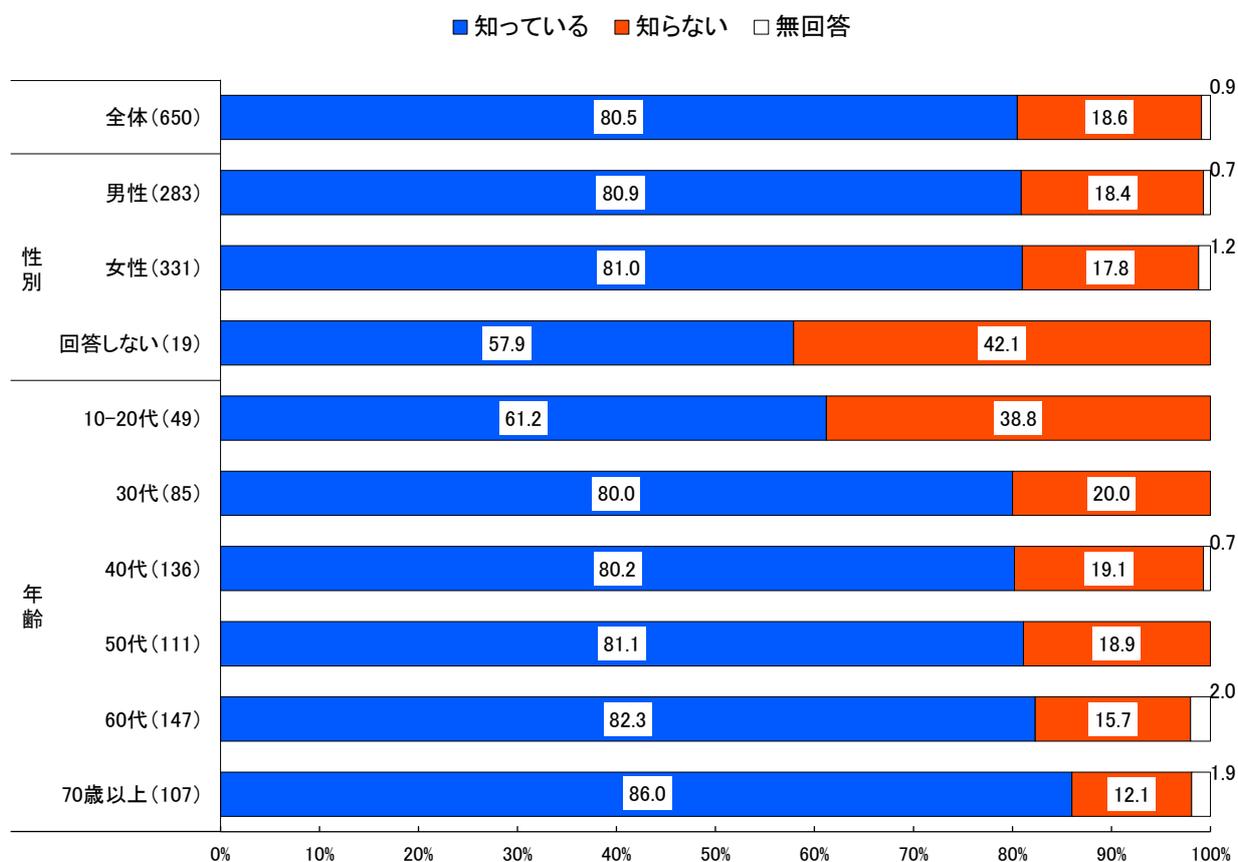
避難場所について

問8 あなたは、ご自分が住んでいる地域の避難場所を知っていますか。

～『知っている』が8割以上、『知らない』は2割以下～

地域の避難場所について全体をみると、「知っている」は80.5%となっており、「知らない」(18.6%)を61.9ポイント上回っています。

年齢別でみると、「知っている」は70歳以上が86.0%と最も高く、最も低い10-20代(61.2%)を24.8ポイント上回っています。



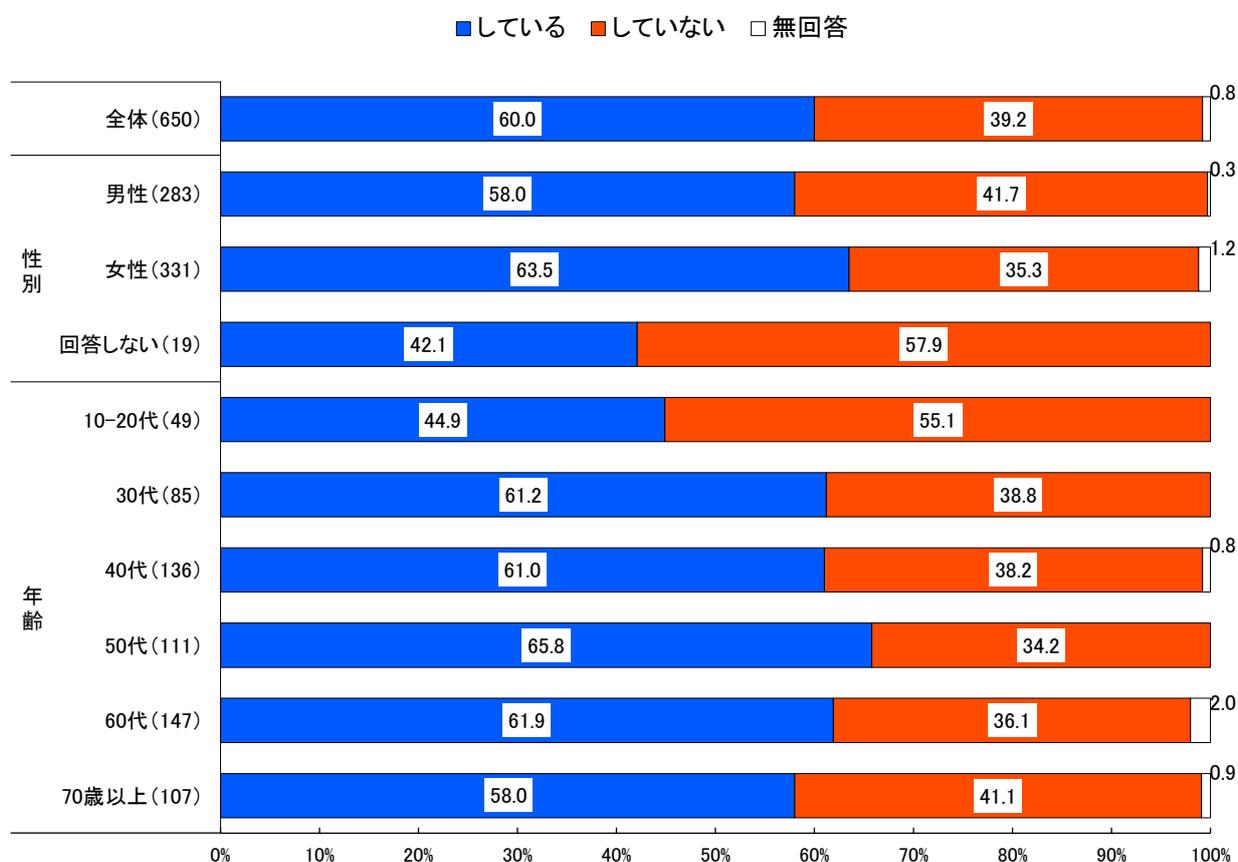
家庭での防災対策について

問9 あなたは、ご家庭で防災対策（食料や飲料の備蓄、家具の転倒防災など）をしていますか。

～「している」が6割以上、「していない」は約4割～

家庭での防災対策について全体をみると、「している」(60.0%)となっており、「していない」(39.2%)を20.8ポイント上回っています。

年齢別でみると、「している」は50代が65.8%と最も高く、最も低い10-20代(44.9%)を20.9ポイント上回っています。



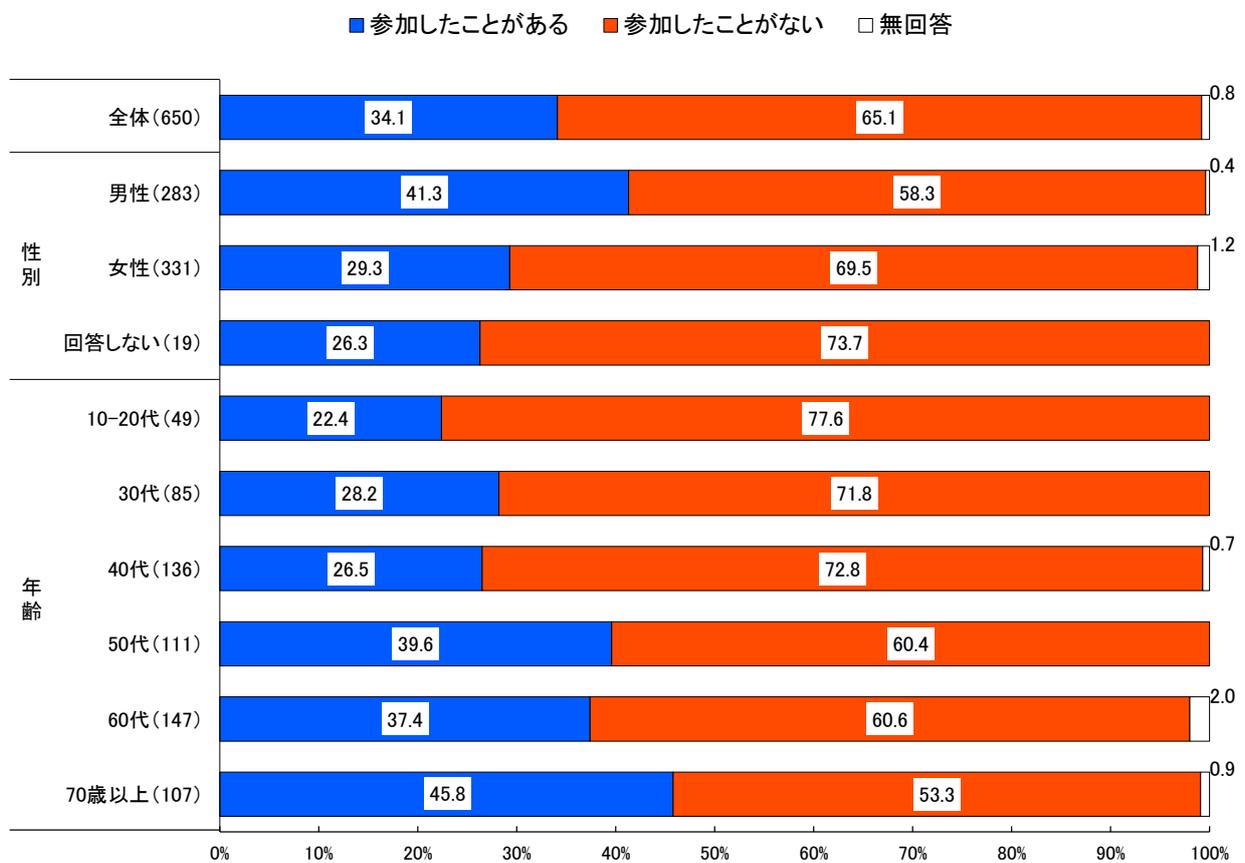
防災訓練等への参加について

問10 あなたは、地域の防災訓練や防災研修会に参加したことがありますか。

～『参加したことがある』が3割、『参加したことがない』は6割以上～

防災訓練等への参加について全体をみると、「参加したことがある」は34.1%となっている一方で、「参加したことがない」は65.1%と、31.0ポイント上回っています。

年齢別でみると、「参加したことがある」は70歳以上が45.8%と最も高く、最も低い10-20代（22.4%）を23.4ポイント上回っています。



住民参画について

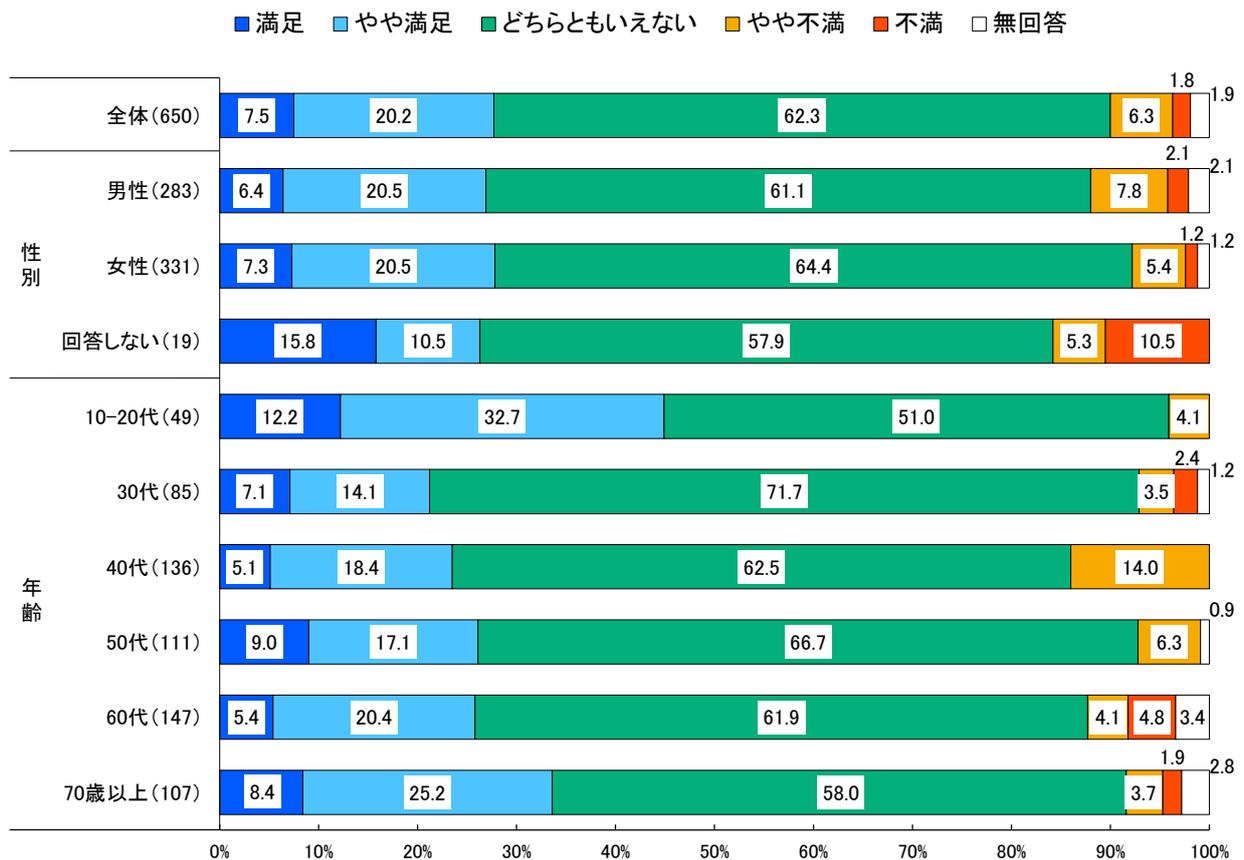
問11 あなたは、町の住民参画に関する取組み（各種委員の一般公募、町政情報の公開、ボランティア・NPO活動の活性化支援）について満足していますか。

～「どちらともいえない」が6割以上、『不満である』は1割以下～

住民参画について全体をみると、「満足」（7.5％）と「やや満足」（20.2％）を合計した『満足している』は27.7％となっており、「不満」（1.8％）と「やや不満」（6.3％）を合計した『不満である』の8.1％を19.6ポイント上回っています。

また、「どちらともいえない」が62.3％と最も高くなっています。

年齢別でみると、『満足している』は10-20代が44.9％と最も高く、最も低い30代（21.2％）を23.7ポイント上回っており、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。



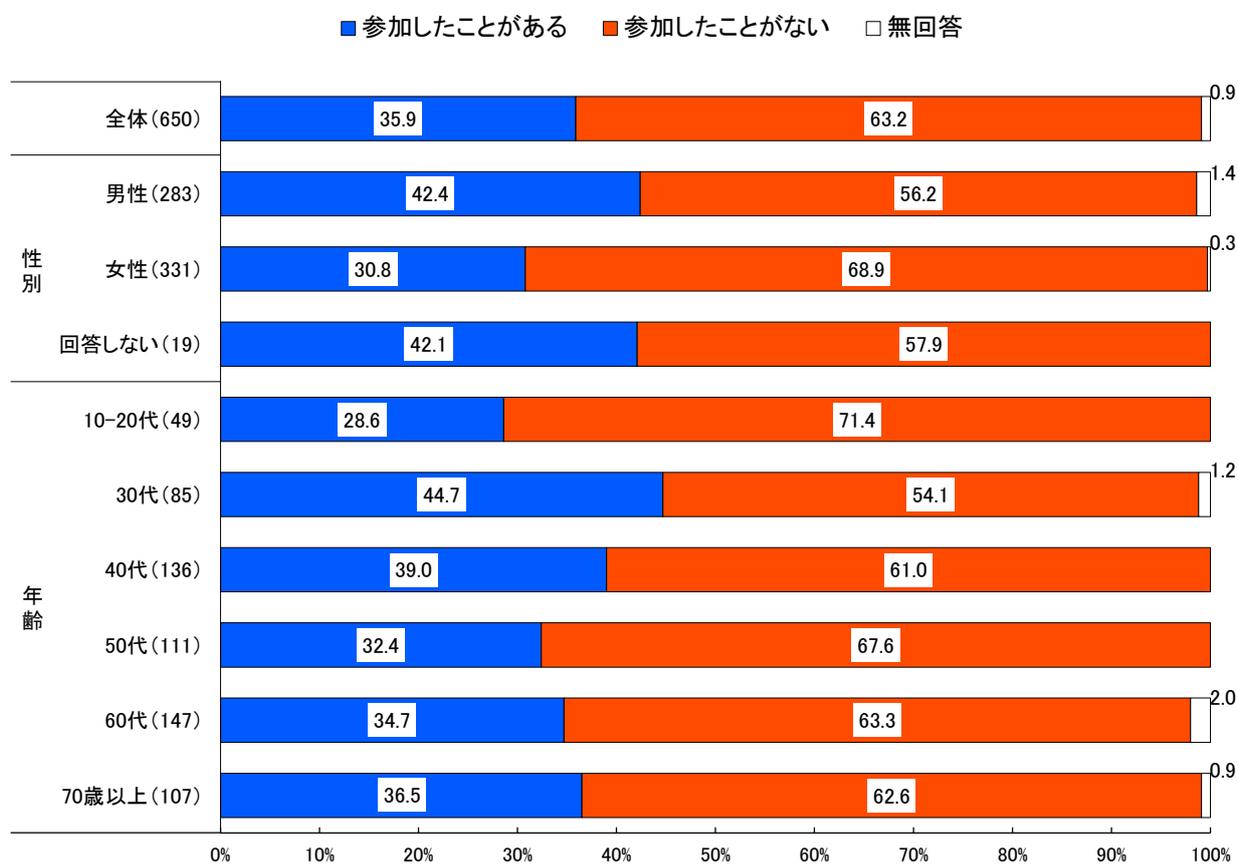
地域活動やボランティア活動への参加経験

問12 あなたは、ここ1年以内に地域のコミュニティ活動やボランティア活動に参加したことがありますか。

～「参加しことがある」が3割台、「参加したことがない」が6割台～

地域活動やボランティア活動への参加経験について全体をみると、「参加したことがある」が35.9%、「参加したことがない」は63.2%となっており、「参加したことがない」が「参加したことがある」を27.3ポイント上回っています。

年齢別でみると、「参加したことがある」は30代が44.7%と最も高く、次いで40代が39.0%となっており、10-20代が28.6%と最も低くなっています。また、全年代で「参加したことがない」が「参加したことがある」を上回っています。



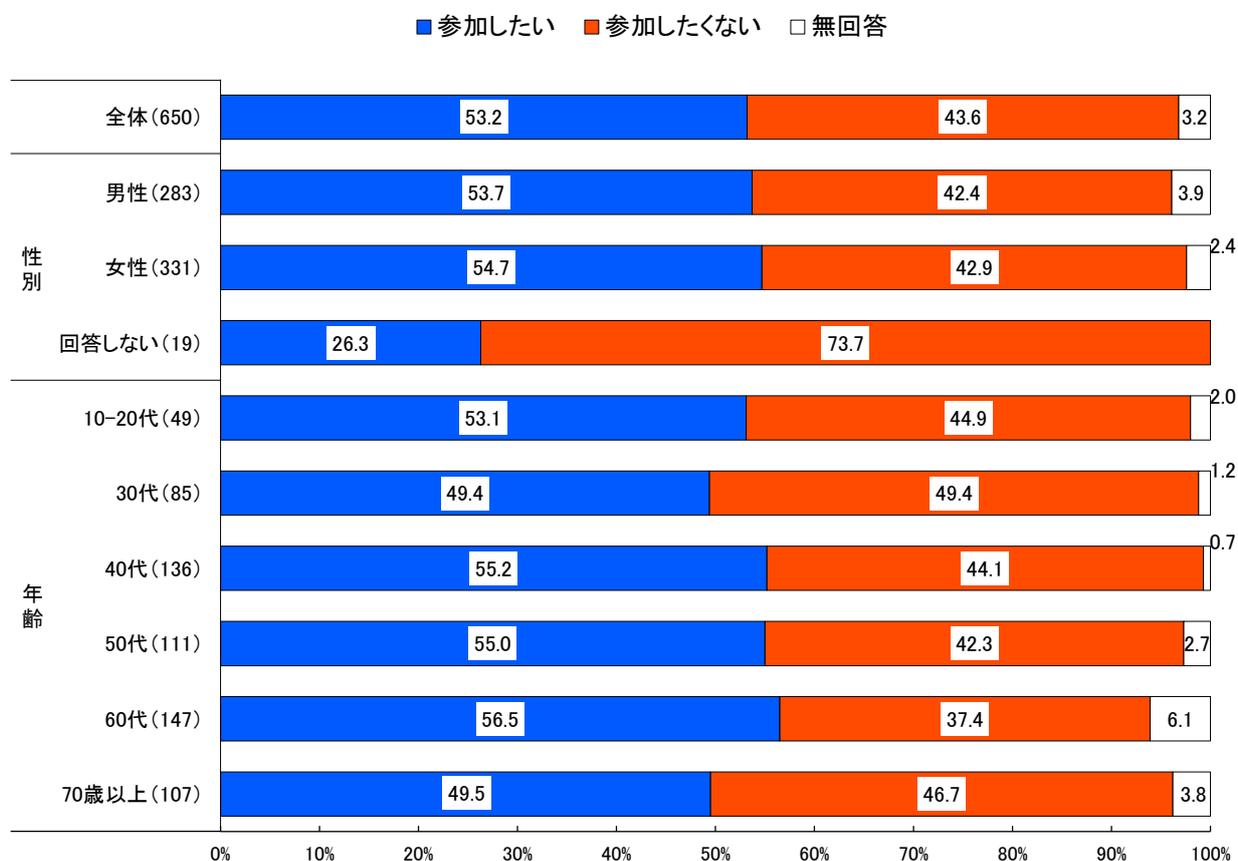
地域活動やボランティア活動への参加意向

問13 地域活動やボランティア活動に、あなたは今後参加したいと思いますか。

～「参加したい」が「参加したくない」を上回っている～

地域活動やボランティア活動への参加意向について全体をみると、「参加したい」が53.2%、「参加したくない」は43.6%となっており、「参加したい」が「参加したくない」を9.6ポイント上回っています。

年齢別でみると、「参加したい」は60代が56.5%と最も高く、次いで40代が55.2%、50代が55.0%と5割以上となっており、一方で30代が49.4%、70歳以上が49.5%と5割を下回っています。



○前回アンケートとの比較

	前回 (H29)	今回 (R5)	増減
参加したい	47.5%	53.2%	+5.7
参加したくない	45.0%	43.6%	△1.4

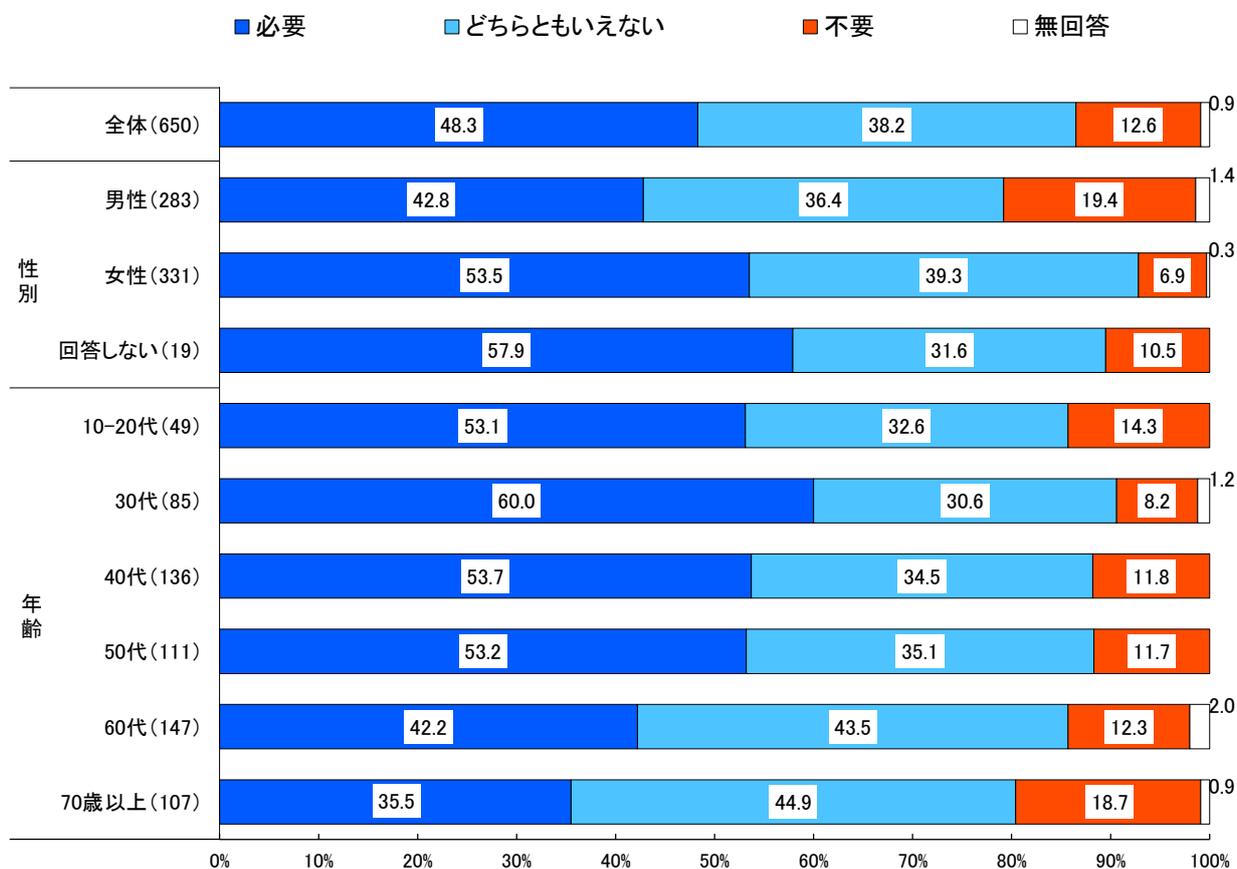
パートナーシップ宣誓制度の必要性

問14 あなたは、別海町における「パートナーシップ宣誓制度」の必要性についてどのように考えますか。

～「必要」が4割以上で、「不要」が2割以下～

パートナーシップ宣誓制度の必要性について全体をみると、「必要」が48.3%、「不要」は12.6%となっており、「必要」が「不要」を35.7ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が38.2%となっています。

年齢別でみると、「必要」は30代が60.0%と最も高い一方で、70歳以上が35.5%と最も低くなっています。



“ パートナーシップ宣誓制度とは、「各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め証明書を発行する制度」です。

ただし、婚姻とは違い自治体が独自に規定するもので、国の法律の効力は反映されません。自治体ごとに受けられるサービスは異なりますが、本制度により、性的マイノリティのパートナーシップ関係にある方が、日常生活の様々な場面での手続きが円滑になるほか、例えば公営住宅への入居申込等を可能としている自治体があります。

町の土地利用に係る施策について

問15 市街地における公共施設跡地などの未利用地の利活用が課題となってきましたが、町の土地利用に係る施策について、あなたが最も重要だと思われることはなんですか。

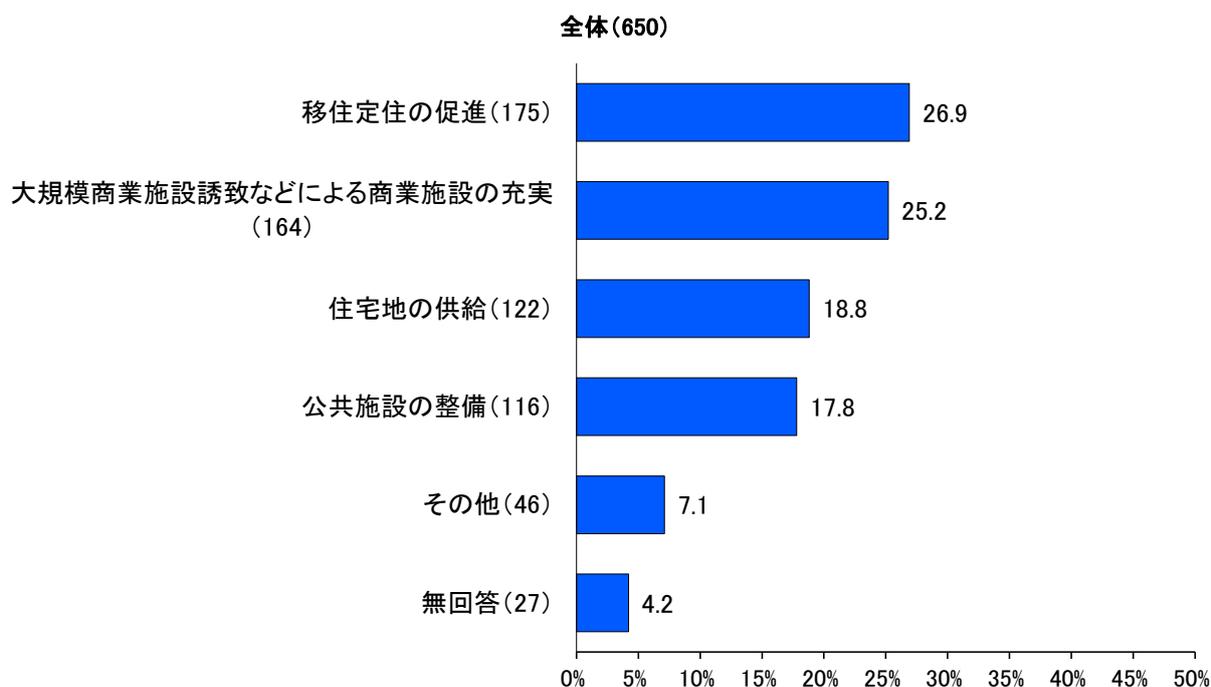
1 全体集計

～「移住定住の促進」が最も高く、

次いで「大規模商業施設誘致などによる商業施設の充実」～

公共施設跡地などの未利用地の利活用について全体をみると、「移住定住の促進」が最も高く26.9%で、次いで「大規模商業施設誘致などによる商業施設の充実」が25.2%となっており、いずれも2割を超えています。

また、「住宅地の供給」が18.8%、「公共施設の整備」が17.8%となっています。

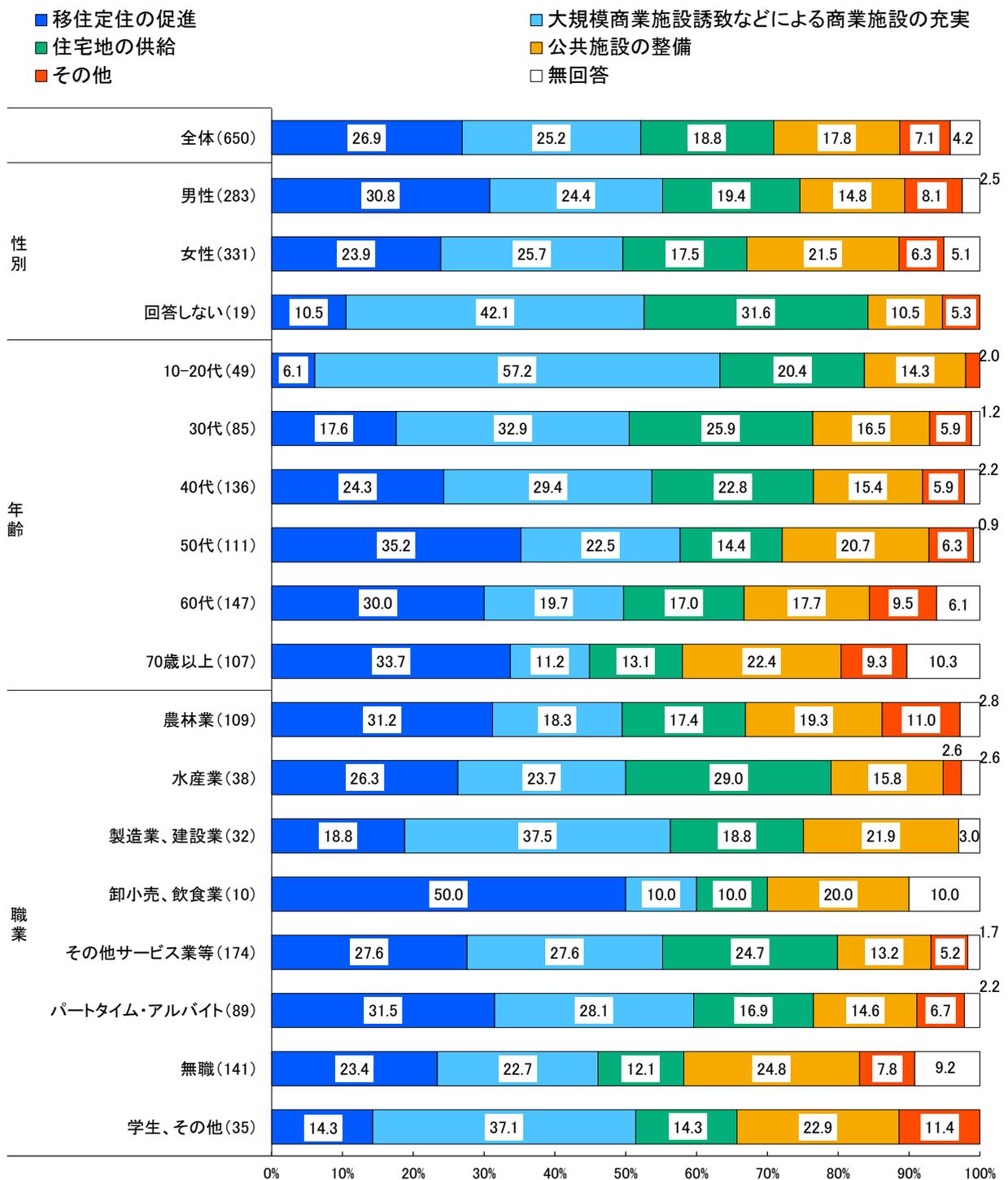


2 性別、年齢、職業別集計

性別でみると、「移住定住の促進」は男性が30.8%と最も高い一方で、女性は「商業施設の充実」が最も高く25.7%となっています。

年齢別にみると、「商業施設の充実」が40代までの世代で最も高く、50代以上は「移住定住の促進」が最も高くなっており、世代間で重要だと考える項目に差がある結果となっています。

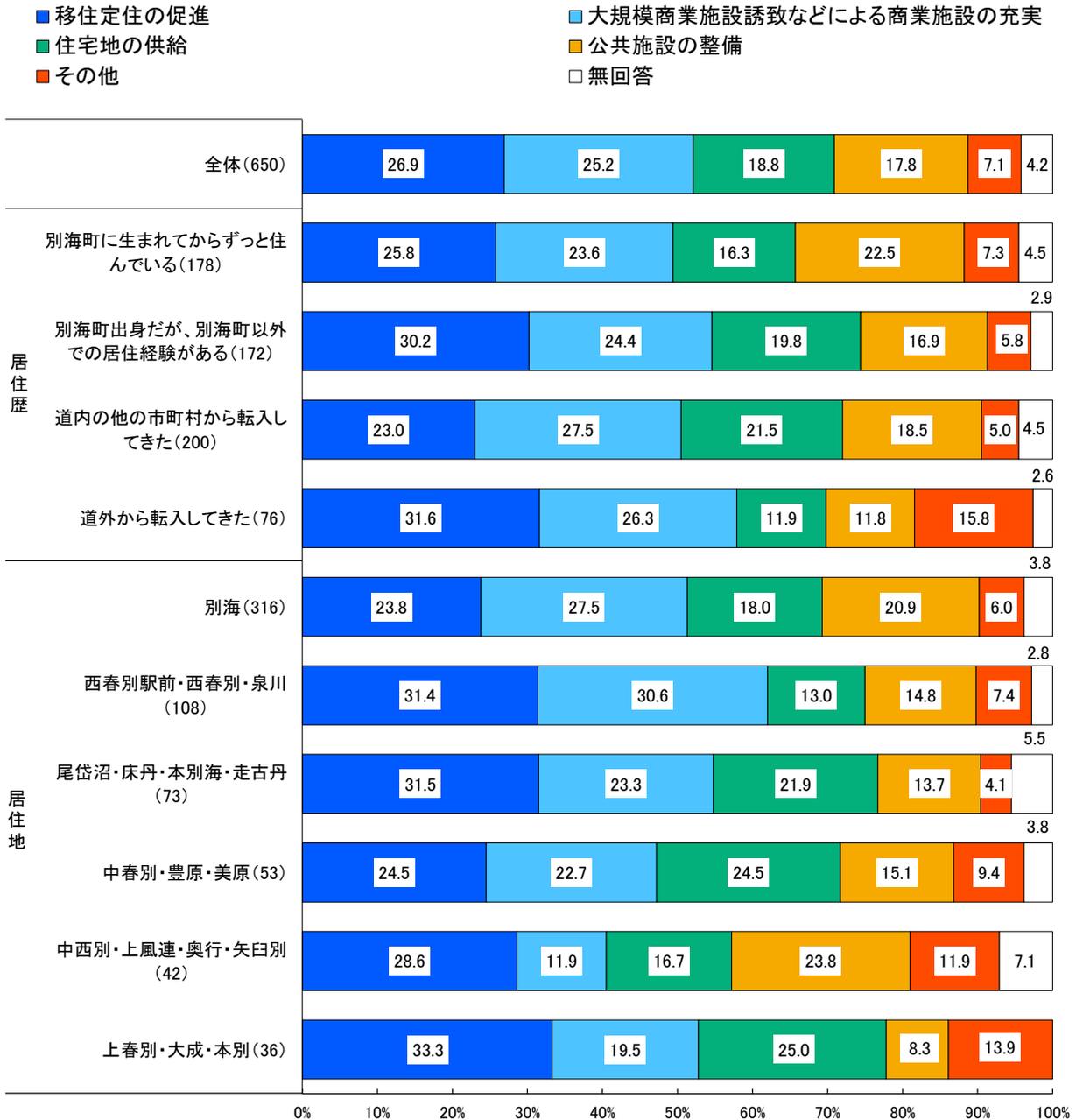
職業別にみると、製造業、建設業、学生などで「商業施設の充実」が最も高く、一方で農林業やパートタイム・アルバイトでは「移住定住の促進」が最も高くなっています。また、水産業では、住宅地の供給が最も高くなっています。



3 居住歴、居住地別集計

居住歴別にみると、「別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある」と「道外から転入してきた」で「移住定住の促進」の割合が高くなっています。

居住地別にみると、「別海」、「西春別駅前・西春別・泉川」で「商業施設の充実」の割合が高い一方で、他の居住地においては「移住定住の促進」が高くなっています。



町の施策に対する「満足度」と「重要度」について

問16 (1)～(37)のそれぞれのまちづくりの施策について、あなたは、どの程度満足していますか。また、今後の重要度はどのくらいですか。

1 これまでの満足度について

～満足度の割合が最も高い項目は「水道の整備」

次いで「消防・救急体制の充実」、「下水道の整備」～

～満足度の割合が最も低い項目は「医療体制の充実」

次いで「雇用・勤労者対策」、「道路・交通網の整備」～

別海町の各施策に対する住民の満足度について、満足度をたずねた37の設問結果の傾向を、『満足している』（「満足」及び「やや満足」の合計）、「どちらともいえない」、『不満である』（「やや不満」及び「不満」の合計）の3区分にまとめ、その比率でみていくと、23の項目で「どちらともいえない」という回答が多数を占めており、『満足している』の比率が高い項目としては、「水道の整備」（67.9%）、「消防・救急体制の充実」（63.9%）となっています。

2 今後の重要度について

～重要度の最も高い項目は「医療体制の充実」

次いで「水産業の振興」、「雇用・勤労者対策」～

別海町の各施策に対する住民の重要度について、重要度をたずねた37の設問結果の傾向を、『重要である』（「特に重要」及び「重要」の合計）、「どちらともいえない」、『重要でない』（「あまり重要ではない」及び「重要ではない」の合計）の3区分にまとめ、その比率でみていくと、すべての項目で『重要である』という回答が多数を占めており、『重要である』の比率が高い項目としては、「医療体制」（94.8%）、「水産業の振興」（90.1%）の2項目となっています。

3 これまでの満足度について（全体％）

項目名	満足+ やや満足	どちらとも いえない	不満+ やや不満
(1)農業の振興	41.9	37.3	20.8
(2)林業の振興	33.7	50.4	15.9
(3)水産業の振興	46.7	35.2	18.1
(4)観光の振興	26.0	41.0	33.0
(5)商工業の振興	23.1	45.5	31.4
(6)雇用・勤労者対策	19.4	40.8	39.8
(7)環境に配慮した自治体の形成	32.7	49.9	17.4
(8)ごみ処理等循環型社会の形成	53.2	28.6	18.2
(9)公園等の整備と緑化の推進	46.2	33.0	20.8
(10)健康づくりの推進	47.4	40.0	12.6
(11)医療体制の充実	26.9	22.9	50.2
(12)地域福祉の充実	40.2	39.3	20.5
(13)子育て支援の充実	43.9	35.7	20.4
(14)障がい者(児)支援施策の充実	32.1	52.2	15.7
(15)高齢者施策の充実	40.4	40.2	19.4
(16)社会保障の充実	33.6	49.6	16.8
(17)社会教育の推進	30.4	55.5	14.1
(18)学校教育の充実	37.4	42.3	20.3
(19)青少年の健全育成	29.0	57.2	13.8
(20)地域文化の振興	34.4	54.3	11.3
(21)スポーツの振興	44.6	42.0	13.4
(22)交流時代への対応	23.0	62.2	14.8
(23)まちづくり景観と市街地活性化	24.9	46.4	28.7
(24)住宅・宅地の整備	28.7	45.5	25.8
(25)道路・交通網の整備	35.1	27.8	37.1
(26)水道の整備	67.9	26.5	5.6
(27)下水道の整備	59.2	32.5	8.3
(28)地域情報化の推進	33.8	53.7	12.5
(29)消防・救急体制の充実	63.9	28.1	8.0
(30)防災対策の推進	43.9	44.8	11.3
(31)交通安全・防犯対策の推進	43.9	46.4	9.7
(32)消費者保護の充実	25.2	62.9	11.9
(33)住民参画のまちづくり	30.0	57.6	12.4
(34)コミュニティ活動の促進	31.3	54.6	14.1
(35)人権の尊重	29.4	59.9	10.7
(36)北方領土対策の推進	23.5	58.3	18.2
(37)時代に対応した自治体経営の推進	29.2	52.4	18.4

4 今後の重要度について（全体％）

項目名	特に重要 +重要	どちらとも いえない	あまり重要ではない +重要ではない
(1)農業の振興	89.3	10.0	0.7
(2)林業の振興	75.7	21.4	2.9
(3)水産業の振興	90.1	8.4	1.5
(4)観光の振興	75.9	18.2	5.9
(5)商工業の振興	81.7	16.4	1.9
(6)雇用・勤労者対策	89.6	9.7	0.7
(7)環境に配慮した自治体の形成	75.4	22.7	1.9
(8)ごみ処理等循環型社会の形成	83.8	14.2	2.0
(9)公園等の整備と緑化の推進	65.2	27.1	7.7
(10)健康づくりの推進	82.3	15.9	1.8
(11)医療体制の充実	94.8	4.7	0.5
(12)地域福祉の充実	85.8	12.4	1.8
(13)子育て支援の充実	88.3	11.2	0.5
(14)障がい者(児)支援施策の充実	79.0	19.4	1.6
(15)高齢者施策の充実	86.5	10.6	2.9
(16)社会保障の充実	85.3	13.2	1.5
(17)社会教育の推進	68.5	29.3	2.2
(18)学校教育の充実	84.1	14.4	1.5
(19)青少年の健全育成	75.0	21.2	3.8
(20)地域文化の振興	58.9	33.9	7.2
(21)スポーツの振興	67.1	28.3	4.6
(22)交流時代への対応	59.8	33.1	7.1
(23)まちづくり景観と市街地活性化	74.5	22.1	3.4
(24)住宅・宅地の整備	71.9	23.5	4.6
(25)道路・交通網の整備	85.3	13.7	1.0
(26)水道の整備	83.5	15.0	1.5
(27)下水道の整備	78.8	19.7	1.5
(28)地域情報化の推進	71.3	25.9	2.8
(29)消防・救急体制の充実	87.1	11.9	1.0
(30)防災対策の推進	84.0	15.5	0.5
(31)交通安全・防犯対策の推進	77.9	19.8	2.3
(32)消費者保護の充実	64.1	31.7	4.2
(33)住民参画のまちづくり	58.8	36.4	4.8
(34)コミュニティ活動の促進	51.2	39.1	9.7
(35)人権の尊重	64.9	30.5	4.6
(36)北方領土対策の推進	52.3	34.2	13.5
(37)時代に対応した自治体経営の推進	72.5	25.3	2.2

5 満足度指数による分析

加重平均値（重要度を加味した平均）により満足度指数を算出し、分析を行ったところ、次のとおりとなりました。

(1) 満足度指数が高い 10 項目

順位	項目	満足度指数
1	(26)水道の整備	4.38
2	(29)消防・救急体制の充実	3.87
3	(27)下水道の整備	3.50
4	(8)ごみ処理等循環型社会の形成	2.20
5	(30)防災対策の推進	2.15
6	(10)健康づくりの推進	2.14
7	(31)交通安全・防犯対策の推進	2.11
8	(21)スポーツの振興	1.96
9	(3)水産業の振興	1.80
10	(9)公園等の整備と緑化の推進	1.59

(2) 満足度指数が低い 10 項目

順位	項目	満足度指数
37	(11)医療体制の充実	-2.05
36	(6)雇用・勤労者対策	-1.56
34	(5)商工業の振興	-0.75
34	(4)観光の振興	-0.74
33	(25)道路・交通網の整備	-0.52
32	(23)まちづくり景観と市街地活性化	-0.37
31	(24)住宅・宅地の整備	0.07
30	(36)北方領土対策の推進	0.24
29	(22)交流時代への対応	0.34
28	(37)時代に対応した自治体経営の推進	0.52

※評価点（加重平均値）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「満足」、「やや満足」、} \\ \text{「どちらともいえない」、} \\ \text{「やや不満」、「不満」の} \\ \text{回答者数} \end{array} \right)$$

6 重要度指数による分析

加重平均値（重要度を加味した平均）により重要度指数を算出し、分析を行ったところ、次のとおりとなりました。

(1) 重要度指数が高い 10 項目

順位	項目	重要度指数
1	(11)医療体制の充実	7.26
2	(13)子育て支援の充実	6.54
3	(1)農業の振興	6.27
4	(3)水産業の振興	6.27
5	(6)雇用・勤労者対策	6.19
6	(15)高齢者施策の充実	5.88
7	(29)消防・救急体制の充実	5.76
8	(30)防災対策の推進	5.72
9	(18)学校教育の充実	5.71
10	(12)地域福祉の充実	5.65

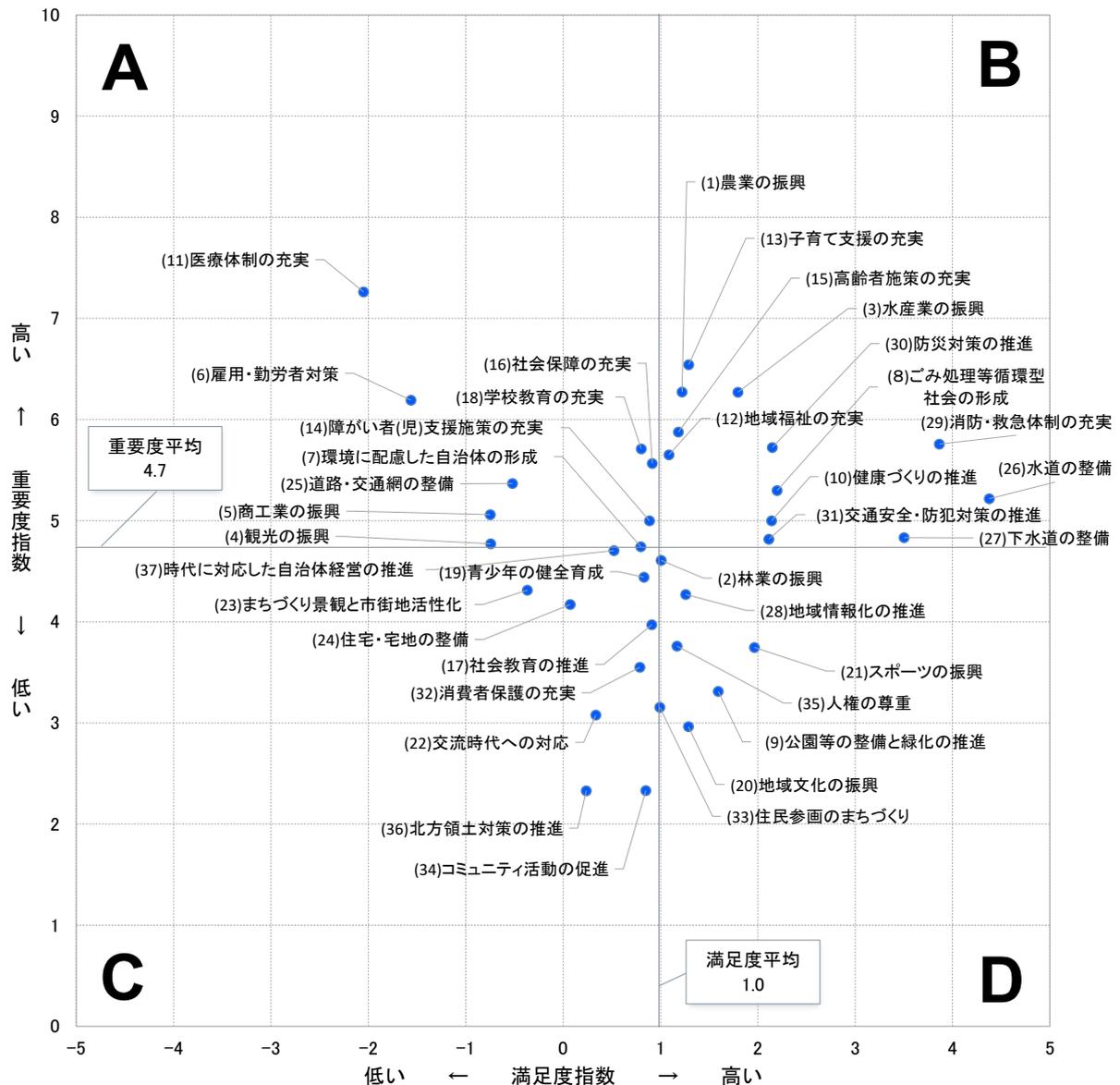
※評価点（加重平均値）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「特に重要」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重要ではない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要ではない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「特に重要」、「重要」、} \\ \text{「どちらともいえない」、} \\ \text{「あまり重要ではない」、} \\ \text{「重要ではない」の回答} \\ \text{者数} \end{array} \right)$$

7 満足度指数と重要度指数による各施策の散布図

満足度と重要度の指数による散布図は、次のとおりです。



A 【満足度が低く、重要度が高い】

…満足度の向上を意識して改善すべき施策

B 【満足度も重要度も高い】

…現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策

C 【満足度も重要度も低い】

…重要度は低いが、満足度の向上を意識して改善すべき施策

D 【満足度が高く、重要度が低い】

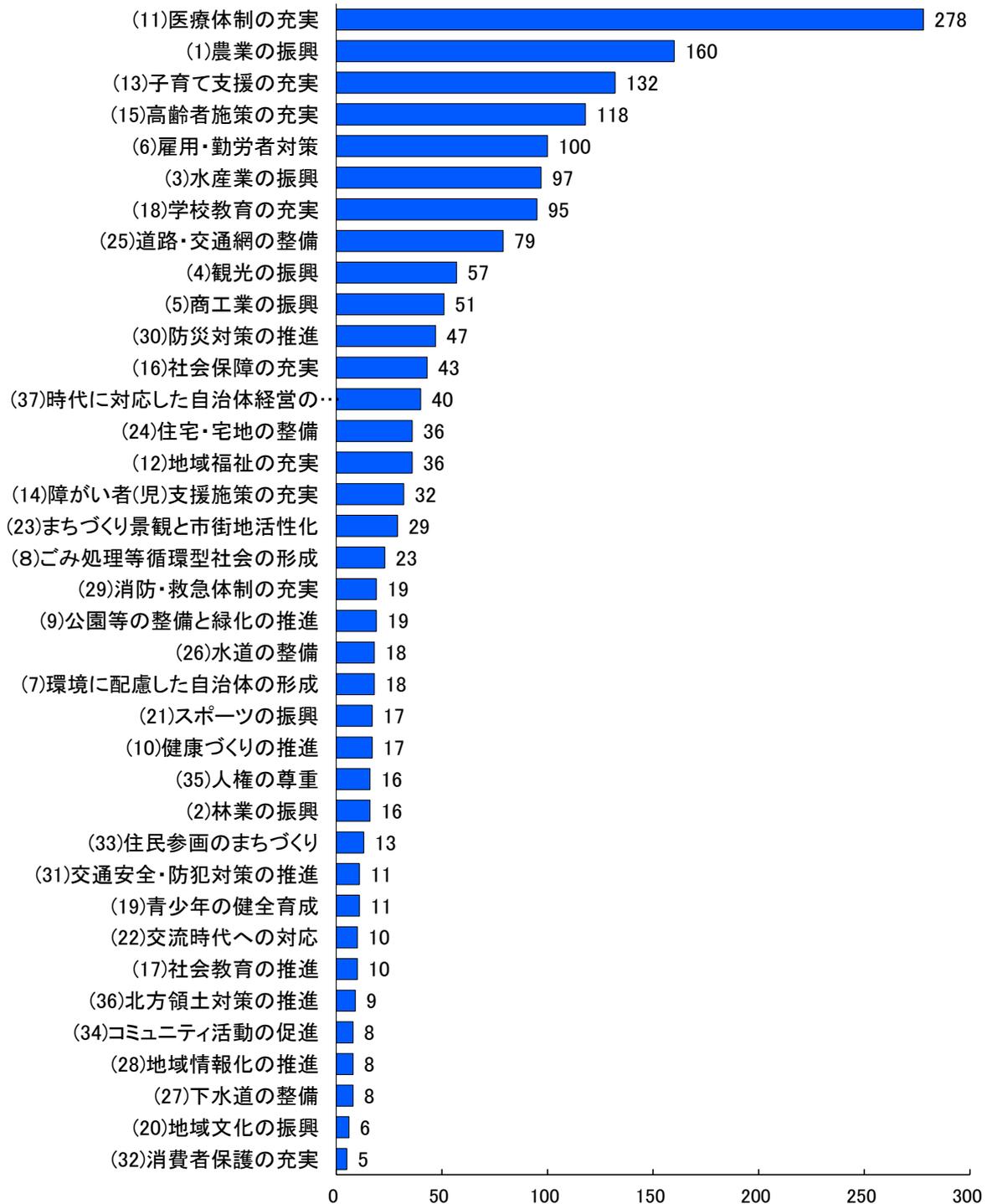
…重要度は低いが、現状の水準を維持すべき施策

今後、特に力を入れてほしいと思うこと

問17 問16の37項目の中で、別海町が今後、特に力を入れてほしいと思うことは、どのような項目ですか

～「医療体制の充実」が最も多く、

次いで「農業の振興」、『子育て支援の充実』～



自由意見について

問18 別海町が目指すまちづくりについて、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

自由意見欄に意見等を記入した人は197人と、有効回答者（650人）に対する記入率は30.3%でした。

集約した意見を、「地域資源を生かした産業のまち」、「人と自然が調和するまち」、「共に支え合い、健やかに暮らせる福祉のまち」、「生涯を通じて人と文化を育む学びのまち」、「安全に、安心して住み続けられるまち」、「参画と協働で共につくるまち」という6つの基本目標で区分し、意見の件数をまとめると以下のとおりとなります。

項目	件数(件)	割合(%)
1 地域資源を生かした産業のまち	60	24.8
2 人と自然が調和するまち	8	3.3
3 共に支え合い、健やかに暮らせる福祉のまち	53	21.9
4 生涯を通じて人と文化を育む学びのまち	22	9.1
5 安全に、安心して住み続けられるまち	61	25.2
6 参画と協働で共につくるまち	26	10.7
その他	12	5.0
合計	243	100

別海町まちづくりアンケート調査報告書

発行年月：令和6年4月

発行：別海町

編集：別海町 総合政策課

住所：〒086-0205

北海道野付郡別海町別海常盤町 280 番地

電話：0153-74-9502

F A X：0153-75-0371